

4 個別調査票による死亡事例の調査結果

(1) 虐待による死亡の状況

こども家庭庁が、都道府県等に対する調査により把握した、令和4年4月から令和5年3月までの1年間（第20次報告の対象期間）に発生、又は表面化した児童虐待による死亡事例は、心中以外の虐待死事例では54例（56人）、心中による虐待死事例（未遂により親は生存したがこどもは死亡したものを含む）では11例（16人）であり、総数は65例（72人）であった。また、第20次報告においても引き続き、都道府県等が虐待による死亡と断定できないと報告があった事例について、本委員会にて検証を行い、虐待による死亡事例として取り扱うと判断された事例（以下「疑義事例」という。）についても合わせて計上することとした（疑義事例は、各表において（ ）で内数として示す）。

また、第1次報告から第20次報告までの期間中に把握した児童虐待による死亡事例数及び死亡人数は、心中以外の虐待死事例では993例（1,045人）、心中による虐待死事例では457例（635人）であった。

表1 死亡事例数及び人数（心中以外の虐待死）^{注6)} ^{注7)}

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
例数	24	48	51	52	73	64	47
人数	25	50	56	61	78	67	49

区分	第8次	第9次	第10次	第11次	第12次	第13次	第14次
例数	45	56	49	36	43	48(8)	49(18)
人数	51	58	51	36	44	52(8)	49(18)

区分	第15次	第16次	第17次	第18次	第19次	第20次	総数
例数	50(23)	51(22)	56(35)	47(15)	50(21)	54(26)	993(168)
人数	52(23)	54(22)	57(35)	49(15)	50(21)	56(27)	1,045(169)

^{注6)} 第1次報告は、対象期間が平成15年7月1日から同年12月末日（半年間）、第5次報告は平成19年1月1日から平成20年3月31日まで（1年3か月間）と、対象期間（月間）が他の報告と異なる。

^{注7)} （ ）内は、都道府県等が虐待による死亡と断定できないと報告のあった事例について、「児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」にて検証すべきと判断された疑義事例数（以下、同様の取扱いとする。）

表2 死亡事例数及び人数（心中による虐待死）^{注8)}

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
例数	－	5	19	48	42	43	30
人数	－	8	30	65	64	61	39

区分	第8次	第9次	第10次	第11次	第12次	第13次	第14次
例数	37	29	29	27	21	24(0)	18(2)
人数	47	41	39	33	27	32(0)	28(3)

区分	第15次	第16次	第17次	第18次	第19次	第20次	総数
例数	8(0)	13(2)	16(3)	19(0)	18(0)	11(0)	457(7)
人数	13(0)	19(3)	21(6)	28(0)	24(0)	16(0)	635(12)

（2） 死亡したこどもの年齢

死亡時点におけるこどもの年齢について、心中以外の虐待死事例では、「0歳」が25人（44.6％）で最も多く、3歳未満は39人（69.6％）であった。第1次報告から第20次報告までの推移をみても、「0歳」が最も多い結果が続いている。

また、心中による虐待死事例では、3歳未満は4人（25.0％）であった。

さらに、死亡した0歳を月齢別にみると、心中以外の虐待死事例では、月齢「0か月」が15人（60.0％）であり、0歳児において最も高い割合を占めた。

^{注8)} 表の中で「－」かつ網掛けの箇所は調査が実施されていない事項。（以下同様の取扱いとする。）

表3 死亡時点のこどもの年齢（心中以外の虐待死）

区分		第1次から第19次 まで	第20次	総数(第1次から 第20次まで)
0歳	人数	479(74)	25(12)	504(86)
	構成割合	48.4%	44.6%	48.2%
1歳	人数	109(15)	5(3)	114(18)
	構成割合	11.0%	8.9%	10.9%
2歳	人数	69(7)	9(5)	78(12)
	構成割合	7.0%	16.1%	7.5%
3歳	人数	95(10)	3(1)	98(11)
	構成割合	9.6%	5.4%	9.4%
4歳	人数	48(6)	5(4)	53(10)
	構成割合	4.9%	8.9%	5.1%
5歳	人数	37(2)	1(0)	38(2)
	構成割合	3.7%	1.8%	3.6%
6歳	人数	21(2)	1(1)	22(3)
	構成割合	2.1%	1.8%	2.1%
7歳	人数	17(0)	2(0)	19(0)
	構成割合	1.7%	3.6%	1.8%
8歳	人数	4(0)	3(0)	7(0)
	構成割合	0.4%	5.4%	0.7%
9歳	人数	12(1)	0(0)	12(1)
	構成割合	1.2%	0.0%	1.1%
10歳	人数	6(0)	0(0)	6(0)
	構成割合	0.6%	0.0%	0.6%
11歳	人数	9(1)	0(0)	9(1)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.9%
12歳	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
13歳	人数	5(0)	1(0)	6(0)
	構成割合	0.5%	1.8%	0.6%
14歳	人数	9(4)	0(0)	9(4)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.9%
15歳	人数	4(1)	1(1)	5(2)
	構成割合	0.4%	1.8%	0.5%
16歳	人数	7(0)	0(0)	7(0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
17歳	人数	4(1)	0(0)	4(1)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
不明	人数	50(18)	0(0)	50(18)
	構成割合	5.1%	0.0%	4.8%
計	人数	989(142)	56(27)	1,045(169)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表4 死亡時点のこどもの年齢（心中による虐待死）

区分		第2次から第19次 まで	第20次	総数(第2次から 第20次まで)
0歳	人数	74(3)	3(0)	77(3)
	構成割合	12.0%	18.8%	12.1%
1歳	人数	43(1)	0(0)	43(1)
	構成割合	6.9%	0.0%	6.8%
2歳	人数	44(1)	1(0)	45(1)
	構成割合	7.1%	6.3%	7.1%
3歳	人数	49(0)	0(0)	49(0)
	構成割合	7.9%	0.0%	7.7%
4歳	人数	43(0)	2(0)	45(0)
	構成割合	6.9%	12.5%	7.1%
5歳	人数	51(0)	2(0)	53(0)
	構成割合	8.2%	12.5%	8.3%
6歳	人数	48(1)	2(0)	50(1)
	構成割合	7.8%	12.5%	7.9%
7歳	人数	38(0)	2(0)	40(0)
	構成割合	6.1%	12.5%	6.3%
8歳	人数	42(0)	2(0)	44(0)
	構成割合	6.8%	12.5%	6.9%
9歳	人数	49(2)	1(0)	50(2)
	構成割合	7.9%	6.3%	7.9%
10歳	人数	33(0)	1(0)	34(0)
	構成割合	5.3%	6.3%	5.4%
11歳	人数	27(0)	0(0)	27(0)
	構成割合	4.4%	0.0%	4.3%
12歳	人数	22(0)	0(0)	22(0)
	構成割合	3.6%	0.0%	3.5%
13歳	人数	16(2)	0(0)	16(2)
	構成割合	2.6%	0.0%	2.5%
14歳	人数	12(0)	0(0)	12(0)
	構成割合	1.9%	0.0%	1.9%
15歳	人数	13(1)	0(0)	13(1)
	構成割合	2.1%	0.0%	2.0%
16歳	人数	5(0)	0(0)	5(0)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.8%
17歳	人数	5(0)	0(0)	5(0)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.8%
不明	人数	5(1)	0(0)	5(1)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.8%
計	人数	619(12)	16(0)	635(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表5 死亡した0歳児の月齢（心中以外の虐待死）

区分	第5次から第19次まで		第20次		総数 (第5次から第20次まで)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
0か月	179(22)	45.4%	15(6)	60.0%	194(28)	46.3%
1か月	25(9)	6.3%	2(2)	8.0%	27(11)	6.4%
2か月	40(12)	10.2%	0(0)	0.0%	40(12)	9.5%
3か月	23(7)	5.8%	1(0)	4.0%	24(7)	5.7%
4か月	23(4)	5.8%	2(1)	8.0%	25(5)	6.0%
5か月	21(5)	5.3%	0(0)	0.0%	21(5)	5.0%
6か月	20(4)	5.1%	1(1)	4.0%	21(5)	5.0%
7か月	17(4)	4.3%	3(2)	12.0%	20(6)	4.8%
8か月	10(2)	2.5%	1(0)	4.0%	11(2)	2.6%
9か月	11(0)	2.8%	0(0)	0.0%	11(0)	2.6%
10か月	11(3)	2.8%	0(0)	0.0%	11(3)	2.6%
11か月	13(2)	3.3%	0(0)	0.0%	13(2)	3.1%
月齢不明	1(0)	0.3%	0(0)	0.0%	1(0)	0.2%
計	394(74)	100.0%	25(12)	100.0%	419(86)	100.0%

表6 死亡した0歳児の月齢（心中による虐待死）

区分	第5次から第19次まで		第20次		総数 (第5次から第20次まで)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
0か月	7(0)	11.7%	0(0)	0.0%	7(0)	11.1%
1か月	5(0)	8.3%	0(0)	0.0%	5(0)	7.9%
2か月	5(1)	8.3%	0(0)	0.0%	5(1)	7.9%
3か月	2(0)	3.3%	0(0)	0.0%	2(0)	3.2%
4か月	7(1)	11.7%	0(0)	0.0%	7(1)	11.1%
5か月	4(0)	6.7%	0(0)	0.0%	4(0)	6.3%
6か月	3(0)	5.0%	1(0)	33.3%	4(0)	6.3%
7か月	9(0)	15.0%	0(0)	0.0%	9(0)	14.3%
8か月	7(0)	11.7%	0(0)	0.0%	7(0)	11.1%
9か月	5(0)	8.3%	0(0)	0.0%	5(0)	7.9%
10か月	2(0)	3.3%	2(0)	66.7%	4(0)	6.3%
11か月	4(1)	6.7%	0(0)	0.0%	4(1)	6.3%
月齢不明	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
計	60(3)	100.0%	3(0)	100.0%	63(3)	100.0%

(3) 虐待の類型と加害の状況

① 死因となった虐待の類型

こどもの死因となった虐待の類型について、心中以外の虐待死事例においては、「ネグレクト」が24人（有効割合^{注9)} 57.1%）、「身体的虐待」が17人（同 40.5%）であった。また、保護者が見ていないときに窓やベランダ等からの転落によって死亡した事例については、「ネグレクト」に分類し集計している。

表7 死因となった虐待の類型（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで			第20次			総数 (第1次から第20次まで)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	576(33)	58.2%	66.0%	17(0)	30.4%	40.5%	593(33)	56.7%	64.8%
ネグレクト	294(53)	29.7%	33.7%	24(13)	42.9%	57.1%	318(66)	30.4%	34.8%
心理的虐待	2(1)	0.2%	0.2%	1(1)	1.8%	2.4%	3(2)	0.3%	0.3%
性的虐待 ※1	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他 ※2	1(0)	0.1%	0.1%	—	—	—	1(0)	0.1%	0.1%
小計	873(87)	88.3%	100.0%	42(14)	75.0%	100.0%	915(101)	87.6%	100.0%
不明	116(55)	11.7%		14(13)	25.0%		130(68)	12.4%	
計	989(142)	100.0%	—	56(27)	100.0%	—	1,045(169)	100.0%	—

※1 第18次報告までは「その他」としていたが、第19次報告からは「性的虐待」と項目名を変更した。

※2 第1次報告から第18次報告まで調査。累計母数は939人

表8 死因となった虐待の類型「ネグレクト」のうち「転落死」した人数（心中以外の虐待死）

	人数
転落死	6(6)

【参考事例】

<死因となった虐待の類型がネグレクトの事例>

○2歳児（ネグレクトにより死亡）

養育者である祖母及び祖母の交際男性が本児を自宅に3日間放置し外出、食事や水分補給の管理を怠ったため、本児が熱中症で死亡。

<転落死の事例>

○4歳児（ネグレクトによる転落で死亡）

実母が短時間外出した際に、本児が10階にある自宅マンションのベランダの高さ約120cmの手すりを乗り越えて転落。ベランダには高さ45cmの椅子が残されていた。

注9) 「有効割合」とは、「不明」「未記入」とした回答を除いた数を合計数として算出した割合をいう。（以下、同様の取扱いとする）

② 直接の死因

ア 直接の死因

こどもの直接の死因について、心中以外の虐待死事例では、「頭部外傷」が7人（有効割合 21.2%）と多く、心中による虐待死事例では、「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」が3人（同 33.3%）であった。

表9 直接の死因（心中以外の虐待死）

区分	第5次から第19次まで			第20次			総数（第5次から第20次まで）		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	159(18)	19.9%	25.4%	7(2)	12.5%	21.2%	166(20)	19.5%	25.2%
胸部外傷	6(0)	0.8%	1.0%	0(0)	0.0%	0.0%	6(0)	0.7%	0.9%
腹部外傷	19(4)	2.4%	3.0%	0(0)	0.0%	0.0%	19(4)	2.2%	2.9%
外傷性ショック	13(1)	1.6%	2.1%	0(0)	0.0%	0.0%	13(1)	1.5%	2.0%
頸部絞扼による窒息	65(0)	8.2%	10.4%	2(0)	3.6%	6.1%	67(0)	7.9%	10.2%
頸部絞扼以外による窒息	94(9)	11.8%	15.0%	3(2)	5.4%	9.1%	97(11)	11.4%	14.7%
溺水	40(3)	5.0%	6.4%	4(2)	7.1%	12.1%	44(5)	5.2%	6.7%
熱傷	2(0)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(0)	0.2%	0.3%
車中放置による熱中症・脱水	21(1)	2.6%	3.3%	4(2)	7.1%	12.1%	25(3)	2.9%	3.8%
中毒（火災によるものを除く）	2(1)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(1)	0.2%	0.3%
出血性ショック	14(2)	1.8%	2.2%	1(0)	1.8%	3.0%	15(2)	1.8%	2.3%
低栄養による衰弱	30(2)	3.8%	4.8%	1(0)	1.8%	3.0%	31(2)	3.6%	4.7%
脱水	2(0)	0.3%	0.3%	2(0)	3.6%	6.1%	4(0)	0.5%	0.6%
凍死	2(0)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(0)	0.2%	0.3%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	40(1)	5.0%	6.4%	0(0)	0.0%	0.0%	40(1)	4.7%	6.1%
病死	13(5)	1.6%	2.1%	0(0)	0.0%	0.0%	13(5)	1.5%	2.0%
転落死 ※1	4(3)	8.0%	10.5%	—	—	—	4(3)	8.0%	10.5%
自死 ※2	0(0)	0.0%	0.0%	1(1)	1.8%	3.0%	1(1)	0.9%	1.4%
その他	101(34)	12.7%	16.1%	8(4)	14.3%	24.2%	109(38)	12.8%	16.5%
小計	627(84)	78.7%	100.0%	33(13)	58.9%	100.0%	660(97)	77.4%	100.0%
不明	170(58)	21.3%	—	23(14)	41.1%	—	193(72)	22.6%	—
計	797(142)	100.0%	—	56(27)	100.0%	—	853(169)	100.0%	—

※1 第19次報告のみの項目 母数は50人

※2 第19次報告より追加した項目 累計母数は106人

【参考事例】

＜車中放置による熱中症・脱水により死亡した事例＞

○1歳児と2歳児のきょうだい（実母によるネグレクトで死亡）

実母が店舗駐車場にて車内に幼いきょうだいを置いたまま買い物に行き、きょうだいは熱中症により死亡。

表 10 直接の死因（心中による虐待死）

区分	第5次から第 19 次まで			第 20 次			総数（第5次から第 20 次まで）		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	18(0)	3.5%	3.8%	1(0)	6.3%	11.1%	19(0)	3.6%	4.0%
胸部外傷	11(0)	2.1%	2.3%	1(0)	6.3%	11.1%	12(0)	2.3%	2.5%
腹部外傷	7(0)	1.4%	1.5%	0(0)	0.0%	0.0%	7(0)	1.3%	1.5%
外傷性ショック	9(0)	1.7%	1.9%	0(0)	0.0%	0.0%	9(0)	1.7%	1.9%
頸部絞扼による窒息	144(2)	27.9%	30.6%	2(0)	12.5%	22.2%	146(2)	27.4%	30.5%
頸部絞扼以外による窒息	7(0)	1.4%	1.5%	0(0)	0.0%	0.0%	7(0)	1.3%	1.5%
溺水	55(2)	10.7%	11.7%	0(0)	0.0%	0.0%	55(2)	10.3%	11.5%
熱傷	1(0)	0.2%	0.2%	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	0.2%	0.2%
車中放置による熱中症・脱水	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
中毒(火災によるものを除く)	80(0)	15.5%	17.0%	0(0)	0.0%	0.0%	80(0)	15.0%	16.7%
出血性ショック	37(1)	7.2%	7.9%	0(0)	0.0%	0.0%	37(1)	7.0%	7.7%
低栄養による衰弱	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
脱水	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
凍死	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	62(0)	12.0%	13.2%	3(0)	18.8%	33.3%	65(0)	12.2%	13.6%
病死	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
転落死 ※1	2(0)	8.3%	8.7%	—	—	—	2(0)	8.3%	8.7%
自死 ※2	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	37(2)	7.2%	7.9%	2(0)	12.5%	22.2%	39(2)	7.3%	8.1%
小計	470(7)	91.1%	100.0%	9(0)	56.3%	100.0%	479(7)	90.0%	100.0%
不明	46(5)	8.9%		7(0)	43.8%		53(5)	10.0%	
計	516(12)	100.0%	—	16(0)	100.0%	—	532(12)	100.0%	—

※1 第 19 次報告のみの項目 母数は 24 人

※2 第 19 次報告より追加した項目 累計母数は 40 人

イ 医師による AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断の有無

医師による AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断は、心中以外の虐待死事例では「あり」が4人（有効割合 11.4%）であった。

表 11 医師による AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断の有無

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	31(15)	55.4%	88.6%	10(0)	62.5%	100.0%
あり	4(1)	7.1%	11.4%	0(0)	0.0%	0.0%
小計	35(16)	62.5%	100.0%	10(0)	62.5%	100.0%
不明	21(11)	37.5%		6(0)	37.5%	
計	56(27)	100.0%	—	16(0)	100.0%	—

【参考事例】

＜医師による AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断があった事例＞

〇〇歳女児（実母による身体的虐待で死亡）

実母は本児が泣き止まなかったことに怒り本児を布団に投げつけ、本児は外傷性脳障害により死亡。

③ 主たる加害者

ア 主たる加害者

主たる加害者について、心中以外の虐待死事例では、「実母」が23人（41.1%）と最も多く、次いで「不明」が15人（26.8%）であった。

心中による虐待死事例では、「実母」が6人（37.5%）、「実父」5人（31.3%）であった。

総数をみても、心中以外による虐待死事例、心中による虐待死事例ともに加害者が「実母」である場合が最も多い。

表12 主たる加害者（心中以外の虐待死）

区分		第1次から第19次まで		第20次		総数 (第1次から第20次まで)	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母		533(59)	53.9%	23(5)	41.1%	556(64)	53.2%
実父		150(12)	15.2%	6(5)	10.7%	156(17)	14.9%
養母		2(0)	0.2%	0(0)	0.0%	2(0)	0.2%
養父		9(0)	0.9%	0(0)	0.0%	9(0)	0.9%
継母		6(0)	0.6%	0(0)	0.0%	6(0)	0.6%
継父		13(1)	1.3%	0(0)	0.0%	13(1)	1.2%
実母の交際相手		40(4)	4.0%	2(0)	3.6%	42(4)	4.0%
母方祖母		7(0)	0.7%	0(0)	0.0%	7(0)	0.7%
母方祖父		1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
父方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖父		1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
実母と	実父	82(20)	8.3%	7(3)	12.5%	89(23)	8.5%
	養父	12(1)	1.2%	0(0)	0.0%	12(1)	1.1%
	継父	3(0)	0.3%	1(1)	1.8%	4(1)	0.4%
	実母の交際相手	23(1)	2.3%	1(0)	1.8%	24(1)	2.3%
	母方祖母	1(1)	0.1%	0(0)	0.0%	1(1)	0.1%
	母方祖父母	1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
	実父と父方祖母	1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
	実父とその他	1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
	実母の交際相手とその他	2(0)	0.2%	0(0)	0.0%	2(0)	0.2%
その他		6(3)	0.6%	0(0)	0.0%	6(3)	0.6%
実父とその他		1(0)	0.1%	0(0)	0.0%	1(0)	0.1%
父方祖母とその他		0(0)	0.0%	1(0)	1.8%	1(0)	0.1%
その他		26(7)	2.6%	0(0)	0.0%	26(7)	2.5%
不明		67(33)	6.8%	15(13)	26.8%	82(46)	7.8%
計		989(142)	100.0%	56(27)	100.0%	1,045(169)	100.0%

表 13 主たる加害者（心中による虐待死）

区分		第2次から第 19 次まで		第 20 次		総数 (第2次から第20次まで)	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母		427(5)	69.0%	6(0)	37.5%	433(5)	68.2%
実父		115(2)	18.6%	5(0)	31.3%	120(2)	18.9%
養母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
養父		2(0)	0.3%	0(0)	0.0%	2(0)	0.3%
継母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継父		1(0)	0.2%	0(0)	0.0%	1(0)	0.2%
実母の交際相手		4(3)	0.6%	0(0)	0.0%	4(3)	0.6%
母方祖母		6(0)	1.0%	0(0)	0.0%	6(0)	0.9%
母方祖父		5(0)	0.8%	0(0)	0.0%	5(0)	0.8%
父方祖母		5(0)	0.8%	0(0)	0.0%	5(0)	0.8%
父方祖父		1(0)	0.2%	0(0)	0.0%	1(0)	0.2%
実母と	実父	25(0)	4.0%	2(0)	12.5%	27(0)	4.3%
	養父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	2(0)	0.3%	0(0)	0.0%	2(0)	0.3%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖父母	4(0)	0.6%	0(0)	0.0%	4(0)	0.6%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実父とその他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		3(0)	0.5%	0(0)	0.0%	3(0)	0.5%
不明		19(2)	3.1%	3(0)	18.8%	22(2)	3.5%
計		619(12)	100.0%	16(0)	100.0%	635(12)	100.0%

イ 主たる加害者とこどもの年齢

心中以外の虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢について、どの年齢においても加害者は「実母」が最も多い。「3歳以上」では「実父」と「実母と実父」が3人（17.6％）であった。

心中による虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢について、「1か月～1歳未満」では「実母」が、「6歳以上」では「実父」が多い。

表 14 主たる加害者と死亡したこどもの年齢（心中以外の虐待死）

区分		死亡したこどもの年齢									
		0歳児						1歳以上 ～3歳未満		3歳以上	
		0日		1日～ 1か月未満		1か月～ 1歳未満					
		人数	構成 割合	人数	構成 割合	人数	構成 割合	人数	構成 割合	人数	構成 割合
実母		5(0)	55.6%	3(1)	50.0%	3(0)	30.0%	6(1)	42.9%	6(3)	35.3%
実父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	10.0%	2(2)	14.3%	3(2)	17.6%
養母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
養父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母の交際相手		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	2(0)	11.8%
実父の交際相手		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母と	実父	1(0)	11.1%	1(1)	16.7%	2(1)	20.0%	0(0)	0.0%	3(1)	17.6%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	10.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	5.9%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母とその他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	7.1%	0(0)	0.0%
小計		6(0)	66.7%	4(2)	66.7%	7(3)	70.0%	9(3)	64.3%	15(6)	88.2%
不明		3(2)	33.3%	2(2)	33.3%	3(3)	30.0%	5(5)	35.7%	2(1)	11.8%
計		9(2)	100.0%	6(4)	100.0%	10(6)	100.0%	14(8)	100.0%	17(7)	100.0%

表 15 主たる加害者と死亡したこどもの年齢（心中による虐待死）

区分		死亡したこどもの年齢									
		1か月未満		1か月～ 1歳未満		1歳以上～ 3歳未満		3歳以上～ 6歳未満		6歳以上	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母		0(0)	0.0%	3(0)	100.0%	0(0)	0.0%	2(0)	40.0%	1(0)	14.3%
実父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	20.0%	4(0)	57.1%
養母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
養父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母の交際相手		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実父の交際相手		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母と	実父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	100.0%	1(0)	20.0%	0(0)	0.0%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
小計		0(0)	0.0%	3(0)	100.0%	1(0)	100.0%	4(0)	80.0%	5(0)	71.4%
不明		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	20.0%	2(0)	28.6%
計		0(0)	0.0%	3(0)	100.0%	1(0)	100.0%	5(0)	100.0%	7(0)	100.0%

ウ 心中以外の虐待死事例における死因となった虐待の類型別にみた主たる加害者

心中以外の虐待死事例における死因となった虐待の類型別にみた主たる加害者について、「実母」が「身体的虐待」では6割強、「ネグレクト」では4割強を占めた。

表 16 死因となった主な虐待の類型と主たる加害者（心中以外の虐待死）

区分		身体的虐待		ネグレクト		心理的虐待		性的虐待		不明	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母		11(0)	64.7%	11(4)	45.8%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	7.1%
実父		0(0)	0.0%	5(4)	20.8%	1(1)	100.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
養母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
養父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
継父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母の交際相手		2(0)	11.8%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実父の交際相手		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖父		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実母と	実父	1(0)	5.9%	2(0)	8.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	4(3)	28.6%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	継父	0(0)	0.0%	1(1)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	1(0)	5.9%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母とその他		0(0)	0.0%	1(0)	4.2%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0(0)
小計		15(0)	88.2%	20(9)	83.3%	1(1)	100.0%	0(0)	0.0%	5(4)	35.7%
不明		2(0)	11.8%	4(4)	16.7%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	9(9)	64.3%
計		17(0)	100.0%	24(13)	100.0%	1(1)	100.0%	0(0)	0.0%	14(13)	100.0%

④ 加害の動機

ア 心中以外の虐待死事例における加害の動機

心中以外の虐待死事例における加害の動機について、動機が「不明」「その他」である場合を除き、「こどもの世話・養育方法がわからない」「こどもの世話・養育をする余裕がない」「こどもの存在の拒否・否定」がそれぞれ3人（5.4％）であった。

表 17 加害の動機（心中以外の虐待死）

区分	第2次から第19次まで		第20次		総数（第2次から第20次まで）	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
しつけのつもり	96(7)	10.0%	2(0)	3.6%	98(7)	9.6%
こどもがなつかない	15(1)	1.6%	0(0)	0.0%	15(1)	1.5%
パートナーへの愛情を独占されたなど、こどもに対する嫉妬心	5(0)	0.5%	0(0)	0.0%	5(0)	0.5%
パートナーへの怒りをこどもに向ける	11(1)	1.1%	0(0)	0.0%	11(1)	1.1%
慢性の疾患等の苦しみからこどもを救おうという主観的意図 ※1	6(0)	0.6%	0(0)	0.0%	6(0)	0.6%
こどもの暴力などから身を守るため	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
MSBP（代理ミュンヒハウゼン症候群）	4(0)	0.4%	0(0)	0.0%	4(0)	0.4%
保護を怠ったことによる死亡 ※2	131(12)	15.1%	—	—	131(12)	15.1%
こどもの世話・養育方法がわからない ※3	3(0)	3.0%	3(1)	5.4%	6(1)	3.9%
こどもの世話・養育をする余裕がない ※3	6(1)	6.1%	3(1)	5.4%	9(2)	5.8%
こどもの存在の拒否・否定	80(4)	8.3%	3(0)	5.4%	83(4)	8.1%
泣きやまないことにいらだったため	76(1)	7.9%	1(0)	1.8%	77(1)	7.5%
アルコール又は薬物依存に起因した精神症状による行為	3(1)	0.3%	0(0)	0.0%	3(1)	0.3%
依存系以外に起因した精神症状による行為（妄想などによる）	44(1)	4.6%	1(0)	1.8%	45(1)	4.4%
その他	141(24)	14.6%	15(8)	26.8%	156(32)	15.3%
不明	343(89)	35.6%	28(17)	50.0%	371(106)	36.4%
計	964(142)	100.0%	56(27)	100.0%	1,020(169)	100.0%

※1 19次報告までは「慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを救おうという主観的意図」

※2 第2次報告から第17次報告まで調査。累計母数は865人

※3 第18次報告から調査。累計母数は155人

イ 心中による虐待死事例における加害の動機

心中による虐待死事例における加害の動機について、「夫婦間のトラブルなど家庭に不和」が7人（43.8％）と最も多く、次いで「こどもの病気・障害」「保護者自身の精神疾患、精神不安」「育児不安や育児負担感」がそれぞれ3人（18.8％）であった。

表 18 加害の動機（心中による虐待死）（複数回答）

区分	心中による虐待死[16 人]	
	人数	構成割合
こどもの病気・障害	3(0)	18.8%
保護者自身の精神疾患、精神不安	3(0)	18.8%
保護者自身の病気(精神疾患を除く)・障害等	1(0)	6.3%
経済的困窮(多額の借金など)	0(0)	0.0%
育児不安や育児負担感	3(0)	18.8%
夫婦間のトラブルなど家庭に不和	7(0)	43.8%
その他	1(0)	6.3%
不明	6(0)	37.5%

(4) 死亡したこどもの生育歴等

① 妊娠期・周産期の問題

妊娠期・周産期の問題について、心中以外の虐待死事例では、「医療機関から連絡」が20人(35.7%)、次いで「妊婦健康診査未受診」が16人(28.6%)であった。

第3次報告から第20次報告までの総数でみると、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」「妊婦健康診査未受診」「妊娠届の未提出(母子健康手帳の未交付)」「若年(10代)妊娠」が多い。

特に、「若年(10代)妊娠」についてみると、我が国における全出生数のうち母親の年齢が若年(10代)の割合は約1%前後で推移^{注10)}している。一方で、第20次報告での心中以外の虐待死事例における「若年(10代)妊娠」の割合は21.4%であり、その割合の高さは顕著である。

その他、「本児を妊娠時の特定妊婦としての支援有」は10人(17.9%)であった。

また、心中による虐待死事例では、「その他(周産期の母体側の問題)」が4人(25.0%)、「その他(妊娠期の母体側の問題)」「帝王切開」「医療機関から連絡」がそれぞれ3人(18.8%)であった。

注10) 平成22年から令和4年までの厚生労働省人口動態統計による。

表 19 妊娠期・周産期の問題（心中以外の虐待死）

区分		第3次から第19次まで [914人]	第20次[56人]	総数(第3次から 第20次まで)[970人]
切迫流産・切迫早産	人数	74(19)	6(2)	80(21)
	構成割合	8.1%	10.7%	8.2%
妊娠高血圧症候群	人数	28(5)	4(2)	32(7)
	構成割合	3.1%	7.1%	3.3%
喫煙の常習	人数	87(16)	5(1)	92(17)
	構成割合	9.5%	8.9%	9.5%
アルコールの常習	人数	34(4)	0(0)	34(4)
	構成割合	3.7%	0.0%	3.5%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等 ※1	人数	3(3)	1(0)	4(3)
	構成割合	0.7%	1.8%	0.9%
マタニティブルーズ	人数	27(6)	2(0)	29(6)
	構成割合	3.0%	3.6%	3.0%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	人数	255(50)	14(7)	269(57)
	構成割合	27.9%	25.0%	27.7%
若年(10代)妊娠	人数	153(24)	12(4)	165(28)
	構成割合	16.7%	21.4%	17.0%
お腹をたたく等の墮胎行為 ※1	人数	5(2)	1(0)	6(2)
	構成割合	1.2%	1.8%	1.3%
妊娠届の未提出(母子健康手帳の未 交付)	人数	187(31)	11(2)	198(33)
	構成割合	20.5%	19.6%	20.4%
妊婦健康診査未受診	人数	249(50)	16(6)	265(56)
	構成割合	27.2%	28.6%	27.3%
胎児虐待 ※2	人数	27(-)	-	27(-)
	構成割合	5.3%	-	5.3%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	人数	47(21)	3(2)	50(23)
	構成割合	8.5%	5.4%	8.2%
自宅分娩(助産師などの立ち会いなし) ※4	人数	86(25)	4(1)	90(26)
	構成割合	19.4%	7.1%	18.0%
遺棄 ※4	人数	120(37)	13(5)	133(42)
	構成割合	27.1%	23.2%	26.7%
墜落分娩	人数	92(17)	6(1)	98(18)
	構成割合	10.1%	10.7%	10.1%
飛び込み出産 ※4	人数	6(1)	2(2)	8(3)
	構成割合	1.4%	3.6%	1.6%
陣痛が微弱であった ※5	人数	6(-)	-	6(-)
	構成割合	1.3%	-	1.3%
帝王切開	人数	108(21)	12(7)	120(28)
	構成割合	11.8%	21.4%	12.4%
救急車で来院 ※6	人数	7(-)	-	7(-)
	構成割合	6.4%	-	6.4%
医療機関から連絡 ※3	人数	79(30)	20(8)	99(38)
	構成割合	14.3%	35.7%	16.3%
その他(周産期の 母体側の問題) ※3	人数	27(11)	3(2)	30(13)
	構成割合	4.9%	5.4%	4.9%
本児を妊娠時の特定妊婦としての 支援有 ※7	人数	24(14)	10(4)	34(18)
	構成割合	24.2%	17.9%	21.9%
低体重(2500g未満)	人数	121(28)	9(3)	130(31)
	構成割合	13.2%	16.1%	13.4%
多胎	人数	25(4)	4(3)	29(7)
	構成割合	2.7%	7.1%	3.0%
新生児仮死	人数	20(4)	5(1)	25(5)
	構成割合	2.2%	8.9%	2.6%
その他の疾患・障害 ※8	人数	54(16)	9(4)	63(20)
	構成割合	6.3%	16.1%	6.9%
出生時の退院の遅れによる母子分離	人数	77(22)	9(4)	86(26)
	構成割合	8.4%	16.1%	8.9%
NICU入院	人数	63(14)	9(3)	72(17)
	構成割合	6.9%	16.1%	7.4%

※1 第12次報告から調査。累計母数は463人

※3 第9次報告から調査。累計母数は608人

※5 第3次報告から第10次報告まで調査。累計母数は471人

※7 第18次報告から調査。累計母数は155人

※2 第3次報告から第11次報告まで調査。累計母数は507人

※4 第11次報告から調査。累計母数は499人

※6 第9次報告から第10次報告まで調査。累計母数は109人

※8 第4次報告から調査。累計母数は914人

表 20 妊娠期・周産期の問題（心中による虐待死）

区分		第3次から第19次まで [611人]	第20次[16人]	総数(第3次から 第20次まで[627人])
切迫流産・切迫早産	人数	40(0)	2(0)	42(0)
	構成割合	6.5%	12.5%	6.7%
妊娠高血圧症候群	人数	15(0)	1(0)	16(0)
	構成割合	2.5%	6.3%	2.6%
喫煙の常習	人数	22(0)	1(0)	23(0)
	構成割合	3.6%	6.3%	3.7%
アルコールの常習	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.6%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等 ※1	人数	3(0)	0(0)	3(0)
	構成割合	1.6%	0.0%	1.4%
マタニティブルーズ	人数	18(0)	2(0)	20(0)
	構成割合	2.9%	12.5%	3.2%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	人数	28(0)	1(0)	29(0)
	構成割合	4.6%	6.3%	4.6%
若年(10代)妊娠	人数	15(0)	0(0)	15(0)
	構成割合	2.5%	0.0%	2.4%
お腹をたたく等の墮胎行為 ※1	人数	3(0)	0(0)	3(0)
	構成割合	1.6%	0.0%	1.4%
妊娠届の未提出(母子健康手帳の未 交付)	人数	7(0)	0(0)	7(0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.1%
妊婦健康診査未受診	人数	21(1)	0(0)	21(1)
	構成割合	3.4%	0.0%	3.3%
胎児虐待 ※2	人数	0(-)	-	0(-)
	構成割合	0.0%	-	0.0%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	人数	16(0)	3(0)	19(0)
	構成割合	5.2%	18.8%	5.9%
自宅分娩(助産師などの立ち会いなし) ※4	人数	6(0)	0(0)	6(0)
	構成割合	2.7%	0.0%	2.5%
遺棄 ※4	人数	1(0)	0(0)	1(0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
墜落分娩	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
飛び込み出産 ※4	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.8%
陣痛が微弱であった ※5	人数	4(-)	-	4(-)
	構成割合	1.0%	-	1.0%
帝王切開	人数	54(1)	3(0)	57(1)
	構成割合	8.8%	18.8%	9.1%
救急車で来院 ※6	人数	0(-)	-	0(-)
	構成割合	0.0%	-	0.0%
医療機関から連絡 ※3	人数	33(3)	3(0)	36(3)
	構成割合	10.8%	18.8%	11.2%
その他(周産期の母体側の問題) ※3	人数	13(0)	4(0)	17(0)
	構成割合	4.3%	25.0%	5.3%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援 有 ※7	人数	3(0)	2(0)	5(0)
	構成割合	5.8%	12.5%	7.4%
低体重(2500g未満)	人数	34(0)	1(0)	35(0)
	構成割合	5.6%	6.3%	5.6%
多胎	人数	12(0)	0(0)	12(0)
	構成割合	2.0%	0.0%	1.9%
新生児仮死	人数	4(0)	1(0)	5(0)
	構成割合	0.7%	6.3%	0.8%
その他の疾患・障害 ※8	人数	26(0)	2(0)	28(0)
	構成割合	4.5%	12.5%	4.7%
出生時の退院の遅れによる母子分離	人数	16(0)	2(0)	18(0)
	構成割合	2.6%	12.5%	2.9%
NICU入院	人数	24(0)	0(0)	24(0)
	構成割合	3.9%	0.0%	3.8%

※1 第12次報告から調査。累計母数は208人

※3 第9次報告から調査。累計母数は321人

※5 第3次報告から第10次報告まで調査。累計母数は386人

※7 第18次報告から調査。累計母数は68人

※2 第3次報告から第11次報告まで調査。累計母数は419人

※4 第11次報告から調査。累計母数は241人

※6 第9次報告から第10次報告まで調査。累計母数は80人

※8 第4次報告から調査。累計母数は597人

【参考事例】

＜予期しない妊娠／計画していない妊娠の事例＞

〇〇歳児（死因は不明）

実母には交際相手がいいたが、別の男性と性交渉を持ち、妊娠が判明。交際相手に発覚するのを恐れ、中絶費用もなかったため、出産直後に男児を竹林の水路に放置し死亡させた。

② 乳幼児健康診査及び予防接種

ア 乳幼児健康診査の受診の有無

乳幼児健康診査の受診状況について、心中以外の虐待死事例では、「3～4か月児健康診査」の未受診者が7人（有効割合 18.9%）、「1歳6か月児健康診査」の未受診者が4人（同 16.7%）、「3歳児健康診査」の未受診者が5人（同 31.3%）であった。

心中による虐待死事例では、「3～4か月児健康診査」の未受診者が0人、「1歳6か月児健康診査」の未受診者が1人（同 7.7%）、「3歳児健康診査」の未受診者が1人（同 8.3%）であった。

表 21 乳幼児健康診査の受診の有無

区分	心中以外の虐待死[56人]						心中による虐待死[16人]					
	受診済み		未受診		年齢的に非該当	不明	受診済み		未受診		年齢的に非該当	不明
	人数	有効割合	人数	有効割合	人数	人数	人数	有効割合	人数	有効割合	人数	人数
3～4か月児健康診査	30(16)	81.1%	7(2)	18.9%	18(9)	1(0)	15(0)	100.0%	0(0)	0.0%	0(0)	1(0)
1歳6か月児健康診査	20(10)	83.3%	4(0)	16.7%	29(15)	3(2)	12(0)	92.3%	1(0)	7.7%	3(0)	0(0)
3歳児健康診査	11(5)	68.8%	5(2)	31.3%	39(20)	1(0)	11(0)	91.7%	1(0)	8.3%	4(0)	0(0)

表 22 乳幼児健康診査の未受診者への対応（複数回答）

3～4か月児健康診査未受診の対応ありの場合				心中以外の虐待死 [6人]		心中による虐待死 [0人]	
				人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり				6(2)		0(0)	
文書による受診勧奨				1(1)	16.7%	0(0)	0.0%
電話による受診勧奨				1(1)	16.7%	0(0)	0.0%
家庭訪問による受診勧奨				2(0)	33.3%	0(0)	0.0%
その他				3(1)	50.0%	0(0)	0.0%
その後の受診の有無又は確認の有無			なし	3(2)	50.0%	0(0)	0.0%
			あり	3(0)	50.0%	0(0)	0.0%
1歳6か月児健康診査未受診の対応ありの場合				心中以外の虐待死 [3人]		心中による虐待死 [1人]	
				人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり				3(0)		1(0)	
文書による受診勧奨				0(0)	0.0%	1(0)	100.0%
電話による受診勧奨				1(0)	33.3%	1(0)	100.0%
家庭訪問による受診勧奨				0(0)	0.0%	1(0)	100.0%
その他				2(0)	66.7%	0(0)	0.0%
その後の受診の有無又は確認の有無			なし	1(0)	33.3%	1(0)	100.0%
			あり	2(0)	66.7%	0(0)	0.0%
3歳児健康診査未受診の対応ありの場合				心中以外の虐待死 [4人]		心中による虐待死 [1人]	
				人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり				4(1)		1(0)	
文書による受診勧奨				0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
電話による受診勧奨				1(1)	25.0%	0(0)	0.0%
家庭訪問による受診勧奨				1(1)	25.0%	0(0)	0.0%
その他				3(0)	75.0%	1(0)	100.0%
その後の受診の有無又は確認の有無			なし	1(0)	25.0%	1(0)	0.0%
			あり	3(1)	75.0%	0(0)	0.0%

イ 予防接種の接種状況

予防接種の接種状況は、「1歳6か月児健康診査時点」で「一部、必要な予防接種が未接種である」が6人（27.3％）であった。

心中による虐待死事例では、該当者はみな「必要な予防接種は終了している（遅滞のある場合も含む）」であった。

表 23 予防接種の接種状況

区分		心中以外の虐待死 [56 人]		心中による虐待死 [16 人]	
		人数	構成割合	人数	構成割合
健康診査時点 3歳4か月児	必要な予防接種は終了している（遅滞のある場合も含む）	29(15)	85.3%	15(0)	100.0%
	一部、必要な予防接種が未接種である	5(2)	14.7%	0(0)	0.0%
	年齢的に非該当	18(8)		0(0)	
	不明	4(2)		1(0)	
健康診査時点 1歳6か月児	必要な予防接種は終了している（遅滞のある場合も含む）	16(8)	72.7%	12(0)	100.0%
	一部、必要な予防接種が未接種である	6(1)	27.3%	0(0)	0.0%
	年齢的に非該当	30(15)		3(0)	
	不明	4(3)		1(0)	
健康診査時点 3歳児	必要な予防接種は終了している（遅滞のある場合も含む）	13(7)	81.3%	12(0)	100.0%
	一部、必要な予防接種が未接種である	3(0)	18.8%	0(0)	0.0%
	年齢的に非該当	40(20)		4(0)	
	不明	0(0)		0(0)	

③ こどもの疾患・障害等

ア こどもの疾患・障害等の有無等

こどもの疾患・障害等について、心中以外の虐待死事例では、「身体疾患」がある事例が8人（14.3%）、「障害」「身体発育の問題（極端な痩せ、身長が低いなど）」がある事例がともに7人（12.5%）であった。心中による虐待死事例では、「身体疾患」「障害」「発達の問題（発達障害、自閉症など）」がある事例がそれぞれ2人（12.5%）であった。

表 24 こどもの疾患・障害等の有無等

区分	心中以外の虐待死[56人]							
	あり		なし		不明		疑い	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体疾患	8(2)	14.3%	35(19)	62.5%	13(6)	23.2%	－	－
障害	7(2)	12.5%	35(19)	62.5%	14(6)	25.0%	－	－
発達の問題 (発達障害、自閉症など)	6(2)	10.7%	29(15)	51.8%	16(7)	28.6%	5(3)	8.9%
身体発育の問題 (極端な痩せ、身長が低いなど)	7(1)	12.5%	35(19)	62.5%	14(7)	25.0%	－	－

区分	心中による虐待死[16人]							
	あり		なし		不明		疑い	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体疾患	2(0)	12.5%	13(0)	81.3%	1(0)	6.3%	－	－
障害	2(0)	12.5%	13(0)	81.3%	1(0)	6.3%	－	－
発達の問題 (発達障害、自閉症など)	2(0)	12.5%	13(0)	81.3%	1(0)	6.3%	0(0)	0.0%
身体発育の問題 (極端な痩せ、身長が低いなど)	0(0)	0.0%	15(0)	93.8%	1(0)	6.3%	－	－

表 25 障害ありの場合の手帳の有無

区分				あり				なし	不明
					うち 手帳あり	うち 手帳なし	うち 手帳不明		
心中以外の虐待死 [56人]	障害あり [7人]	知的障害	人数	5 (2)	5(2)	0(0)	0(0)	0 (0)	2 (0)
			構成割合	71.4%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
		身体障害	人数	5 (0)	4(0)	1(0)	0(0)	1 (1)	1 (1)
			構成割合	71.4%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
心中による虐待死 [16人]	障害あり [2人]	知的障害	人数	2 (0)	2(0)	0(0)	0(0)	0 (0)	0 (0)
			構成割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		身体障害	人数	0 (0)	0(0)	0(0)	0(0)	2 (0)	0 (0)
			構成割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

イ 疾患・障害等があったこどもと関係機関の関与状況

疾患・障害等があったこどもと関係機関の関与状況について、心中以外の虐待死事例では、障害（知的障害、身体障害）のある1人を除き、何らかの機関の関与があった。関与した関係機関には、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「医療機関」などがあった。

また、心中による虐待死事例においても、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「養育機関・教育機関」などの関与があった。

表 26 疾患・障害等があったこどもと関係機関の関与状況（複数回答）

区分		こどもの疾病・障害等							
		心中以外の虐待死				心中による虐待死			
		身体疾患 [8人]	障害 (知的障害、 身体障害) [7人]	発達の 問題 (発達障害、 自閉症 など) [6人]	身体発育 の問題 (極端な瘦 せ、身長が 低いなど) [7人]	身体疾患 [2人]	障害 (知的障害、 身体障害) [2人]	発達の 問題 (発達障害、 自閉症 など) [2人]	身体発育 の問題 (極端な瘦 せ、身長が 低いなど) [0人]
何らかの機関の関与があったこどもの数 (人数)		8 (2)	6 (2)	6 (2)	7 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)
関与した関係機関	児童相談所	5 (2)	4 (2)	5 (2)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	市区町村(虐待対応担当部署)	5 (1)	4 (1)	5 (1)	5 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	その他の機関	8 (2)	6 (2)	6 (2)	7 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)
	内訳								
	福祉事務所	4 (0)	4 (1)	4 (1)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	家庭児童相談室	3 (0)	2 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	民生委員・児童委員	2 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	保健所	4 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	市区町村の母子保健担当 部署(保健センター等)	7 (2)	5 (2)	5 (1)	6 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	養育機関・教育機関	5 (1)	5 (2)	6 (2)	5 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)
	医療機関	8 (2)	6 (2)	6 (2)	7 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	助産師(医療機関に勤務 する者を除く)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	警察	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	婦人相談所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	配偶者暴力相談支援センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※ []内は疾患・障害等があったこどもの人数

④ こどもの情緒・行動上の問題

こどもの情緒・行動上の問題について、心中以外の事例では、問題「なし」が 20 人（有効割合 57.1%）、「あり」が 15 人（同 42.9%）であった。「あり」の内訳は、「かんしゃく」「指示に従わない」「その他」がそれぞれ 6 人（同 17.1%）、次いで「ミルクの飲みムラ」「激しい泣き」「多動」がそれぞれ 5 人（同 14.3%）であった。

また、心中による虐待死事例では、問題「なし」が 5 人（同 55.6%）、「あり」が 4 人（同 44.4%）であった。「あり」の内訳は、「衝動性」が 2 人（同 22.2%）などであった。

表 27 こどもの情緒・行動上の問題

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		20(10)	35.7%	57.1%	5(0)	31.3%	55.6%
あり		15(6)	26.8%	42.9%	4(0)	25.0%	44.4%
内訳	ミルクの飲みムラ	5(2)	8.9%	14.3%	0(0)	0.0%	0.0%
	激しい泣き	5(2)	8.9%	14.3%	0(0)	0.0%	0.0%
	夜泣き	2(1)	3.6%	5.7%	0(0)	0.0%	0.0%
	食事の拒否	2(1)	3.6%	5.7%	1(0)	6.3%	11.1%
	夜尿	4(1)	7.1%	11.4%	0(0)	0.0%	0.0%
	多動	5(4)	8.9%	14.3%	1(0)	6.3%	11.1%
	衝動性	4(2)	7.1%	11.4%	2(0)	12.5%	22.2%
	かんしゃく	6(3)	10.7%	17.1%	1(0)	6.3%	11.1%
	自傷行為	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	性器いじり	1(0)	1.8%	2.9%	0(0)	0.0%	0.0%
	指示に従わない	6(2)	10.7%	17.1%	1(0)	6.3%	11.1%
	なつかない	2(1)	3.6%	5.7%	0(0)	0.0%	0.0%
	無表情、表情が乏しい	4(1)	7.1%	11.4%	0(0)	0.0%	0.0%
	固まってしまう	3(1)	5.4%	8.6%	0(0)	0.0%	0.0%
	盗癖	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	虚言癖	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	不登校	3(0)	5.4%	8.6%	0(0)	0.0%	0.0%
	その他	6(2)	10.7%	17.1%	1(0)	6.3%	11.1%
小計		35(16)	62.5%	100.0%	9(0)	56.3%	100.0%
不明		21(11)	37.5%		7(0)	43.8%	
計		56(27)	100.0%	—	16(0)	100.0%	—

⑤ こどもの養育機関・教育機関の所属

こどもの養育機関・教育機関の所属について、心中以外の虐待死事例では、所属「あり」が25人（有効割合47.2%）であった。「あり」の内訳は、「認可保育所」が14人（同26.4%）と最も多く、次いで「小学校」が4人（同7.5%）であった。

また、心中による虐待死事例では、所属「あり」が12人（同85.7%）であった。「あり」の内訳は、「小学校」が5人（同35.7%）と最も多く、次いで「認可保育所」が4人（同28.6%）であった。

表 28 こどもの養育機関・教育機関の所属

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		28(13)	50.0%	52.8%	2(0)	12.5%	14.3%
あり		25(11)	44.6%	47.2%	12(0)	75.0%	85.7%
内訳	認可保育所	14(8)	25.0%	26.4%	4(0)	25.0%	28.6%
	認可外保育所	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	認定こども園	1(0)	1.8%	1.9%	0(0)	0.0%	0.0%
	幼稚園	0(0)	0.0%	0.0%	2(0)	12.5%	14.3%
	小学校	4(1)	7.1%	7.5%	5(0)	31.3%	35.7%
	中学校	1(0)	1.8%	1.9%	0(0)	0.0%	0.0%
	高等学校	1(1)	1.8%	1.9%	0(0)	0.0%	0.0%
	特別支援学校	2(0)	3.6%	3.8%	1(0)	6.3%	7.1%
	その他	2(1)	3.6%	3.8%	0(0)	0.0%	0.0%
小計		53(24)	94.6%	100.0%	14(0)	87.5%	100.0%
不明		3(3)	5.4%		2(0)	12.5%	
計		56(27)	100.0%	—	16(0)	100.0%	—

(5) 養育環境

① 養育者の心理的・精神的問題等

ア 養育者（実母）の心理的・精神的問題等

養育者（実母）の心理的・精神的問題等について、心中以外の虐待死事例では、「養育能力の低さ」15人（27.3%）と最も多く、次いで「育児不安」が11人（20.0%）であった。第5次報告から第20次報告までの総数を見ると、「養育能力の低さ」「育児不安」が多い。

心中による虐待死事例では「育児不安」「感情の起伏が激しい」「DVを受けている」がそれぞれ3人（18.8%）と多かった。第5次報告から第20次報告までの総数をみると、「育児不安」「精神障害（医師の診断によるもの）」「うつ状態」が多い。

なお、「養育能力の低さ」とは、こどもの成長発達を促すために必要な関わり（授乳や食事、保清、情緒的な要求への応答、こどもの体調変化の把握、安全面への配慮等）が適切にできない場合としている。

表 29 養育者（実母）の心理的・精神的問題等（心中以外の虐待死） ※1

区分		第5次から第19次まで [777人]	第20次[55人]	総数(第5次から第20次まで)[832人]
育児不安	人数	187(29)	11(5)	198(34)
	構成割合	24.1%	20.0%	23.8%
マタニティブルーズ	人数	28(6)	0(0)	28(6)
	構成割合	3.6%	0.0%	3.4%
産後うつ	人数	42(5)	2(2)	44(7)
	構成割合	5.4%	3.6%	5.3%
知的障害	人数	40(7)	5(0)	45(7)
	構成割合	5.1%	9.1%	5.4%
精神障害(医師の診断によるもの)	人数	80(13)	10(5)	90(18)
	構成割合	10.3%	18.2%	10.8%
身体障害	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
その他の障害	人数	9(3)	1(0)	10(3)
	構成割合	1.2%	1.8%	1.2%
アルコール依存	人数	15(2)	0(0)	15(2)
	構成割合	1.9%	0.0%	1.8%
薬物依存	人数	8(3)	0(0)	8(3)
	構成割合	1.0%	0.0%	1.0%
ギャンブル依存 ※2	人数	1(0)	2(1)	3(1)
	構成割合	0.3%	3.6%	0.8%
衝動性	人数	82(9)	6(0)	88(9)
	構成割合	10.6%	10.9%	10.6%
攻撃性	人数	68(8)	6(0)	74(8)
	構成割合	8.8%	10.9%	8.9%
怒りのコントロール不全	人数	70(10)	2(0)	72(10)
	構成割合	9.0%	3.6%	8.7%
うつ状態	人数	80(9)	8(4)	88(13)
	構成割合	10.3%	14.5%	10.6%
躁状態	人数	8(2)	3(1)	11(3)
	構成割合	1.0%	5.5%	1.3%
感情の起伏が激しい	人数	69(13)	6(3)	75(16)
	構成割合	8.9%	10.9%	9.0%
高い依存性	人数	51(8)	3(0)	54(8)
	構成割合	6.6%	5.5%	6.5%
幻視、幻聴	人数	16(0)	1(0)	17(0)
	構成割合	2.1%	1.8%	2.0%
妄想	人数	16(0)	1(0)	17(0)
	構成割合	2.1%	1.8%	2.0%
DVを受けている	人数	67(11)	3(1)	70(12)
	構成割合	8.6%	5.5%	8.4%
DVを行っている	人数	9(1)	0(0)	9(1)
	構成割合	1.2%	0.0%	1.1%
自殺未遂の既往	人数	34(7)	3(1)	37(8)
	構成割合	4.4%	5.5%	4.4%
養育能力の低さ	人数	216(38)	15(6)	231(44)
	構成割合	27.8%	27.3%	27.8%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	15(5)	1(1)	16(6)
	構成割合	2.5%	1.8%	2.5%

※1 実母の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は364人

※3 第8次報告から調査。累計母数は650人

表 30 養育者（実母）の心理的・精神的問題等（心中による虐待死） ※1

区分		第5次から第19次まで [440人]	第20次[16人]	総数(第5次から第20次まで)[456人]
育児不安	人数	111(2)	3(0)	114(2)
	構成割合	25.2%	18.8%	25.0%
マタニティブルーズ	人数	12(0)	1(0)	13(0)
	構成割合	2.7%	6.3%	2.9%
産後うつ	人数	23(2)	2(0)	25(2)
	構成割合	5.2%	12.5%	5.5%
知的障害	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.9%
精神障害(医師の診断によるもの)	人数	107(1)	2(0)	109(1)
	構成割合	24.3%	12.5%	23.9%
身体障害	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.9%
その他の障害	人数	3(0)	0(0)	3(0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
アルコール依存	人数	7(0)	0(0)	7(0)
	構成割合	1.6%	0.0%	1.5%
薬物依存	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.9%
ギャンブル依存 ※2	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
衝動性	人数	36(0)	2(0)	38(0)
	構成割合	8.2%	12.5%	8.3%
攻撃性	人数	16(0)	2(0)	18(0)
	構成割合	3.6%	12.5%	3.9%
怒りのコントロール不全	人数	16(0)	2(0)	18(0)
	構成割合	3.6%	12.5%	3.9%
うつ状態	人数	106(1)	1(0)	107(1)
	構成割合	24.1%	6.3%	23.5%
躁状態	人数	5(0)	0(0)	5(0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.1%
感情の起伏が激しい	人数	29(0)	3(0)	32(0)
	構成割合	6.6%	18.8%	7.0%
高い依存性	人数	16(0)	0(0)	16(0)
	構成割合	3.6%	0.0%	3.5%
幻視、幻聴	人数	5(0)	0(0)	5(0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.1%
妄想	人数	13(0)	0(0)	13(0)
	構成割合	3.0%	0.0%	2.9%
DVを受けている	人数	16(1)	3(0)	19(1)
	構成割合	3.6%	18.8%	4.2%
DVを行っている	人数	8(0)	2(0)	10(0)
	構成割合	1.8%	12.5%	2.2%
自殺未遂の既往	人数	37(0)	1(0)	38(0)
	構成割合	8.4%	6.3%	8.3%
養育能力の低さ	人数	31(1)	0(0)	31(1)
	構成割合	7.0%	0.0%	6.8%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	6(2)	1(0)	7(2)
	構成割合	1.9%	6.3%	2.1%

※1 実母の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は139人

※3 第8次報告から調査。累計母数は339人

【参考事例】

＜実母の養育能力の低さがあった事例＞

○3歳（実母による身体的虐待で死亡）

実母は両足を骨折して歩けない本児に治療を受けさせず放置、本児はその後意識不明となり搬送先の病院で死亡を確認。実母は以前本児への障害の罪で起訴された経緯があった。

○7歳（実母による身体的虐待で死亡）

実母が自宅で本児を頸部絞扼し窒息死させ、自ら警察に通報。以前、警察に「こどもの接し方がわからない」と相談があり、児童相談所に連絡。児童相談所から実母に何度も一時保護の提案がされていたが母子ともに希望がなく、実母の相談時に面談や訪問をしていた。

イ 養育者（実父）の心理的・精神的問題等

養育者（実父）の心理的・精神的問題等について、心中以外の虐待死事例では、「感情の起伏が激しい」が5人（12.2％）と多く、次いで「衝動性」が4人（9.8％）であった。第5次報告から第20次報告までの総数を見ると、「養育能力の低さ」「攻撃性」「感情の起伏が激しい」「衝動性」「怒りのコントロール不全」が多かった。

また、心中による虐待死事例では、「DVを行っている」が4人（25.0％）と多く、次いで「衝動性」「攻撃性」「怒りのコントロール不全」「感情の起伏が激しい」「DVを受けている」がそれぞれ2人（12.5％）であった。

表 31 養育者（実父）の心理的・精神的問題等（心中以外の虐待死） ※1

区分		第5次から第19次まで [550人]	第20次[41人]	総数(第5次から第20 次まで)[591人]
育児不安	人数	22(5)	1(0)	23(5)
	構成割合	4.0%	2.4%	3.9%
知的障害	人数	6(3)	2(0)	8(3)
	構成割合	1.1%	4.9%	1.4%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	18(6)	2(2)	20(8)
	構成割合	3.3%	4.9%	3.4%
身体障害	人数	4(1)	1(0)	5(1)
	構成割合	0.7%	2.4%	0.8%
その他の障害	人数	5(2)	0(0)	5(2)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.8%
アルコール依存	人数	5(1)	1(1)	6(2)
	構成割合	0.9%	2.4%	1.0%
薬物依存	人数	4(1)	0(0)	4(1)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
ギャンブル依存 ※2	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.8%
衝動性	人数	53(8)	4(2)	57(10)
	構成割合	9.6%	9.8%	9.6%
攻撃性	人数	63(9)	2(0)	65(9)
	構成割合	11.5%	4.9%	11.0%
怒りのコントロール不全	人数	54(6)	3(1)	57(7)
	構成割合	9.8%	7.3%	9.6%
うつ状態	人数	8(1)	3(2)	11(3)
	構成割合	1.5%	7.3%	1.9%
躁状態	人数	4(1)	2(2)	6(3)
	構成割合	0.7%	4.9%	1.0%
感情の起伏が激しい	人数	55(13)	5(3)	60(16)
	構成割合	10.0%	12.2%	10.2%
高い依存性	人数	11(2)	2(1)	13(3)
	構成割合	2.0%	4.9%	2.2%
幻視、幻聴	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.3%
妄想	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.3%
DVを受けている	人数	10(2)	0(0)	10(2)
	構成割合	1.8%	0.0%	1.7%
DVを行っている	人数	51(10)	3(1)	54(11)
	構成割合	9.3%	7.3%	9.1%
自殺未遂の既往	人数	7(2)	0(0)	7(2)
	構成割合	1.3%	0.0%	1.2%
養育能力の低さ	人数	89(21)	3(2)	92(23)
	構成割合	16.2%	7.3%	15.6%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母 国語としていない) ※3	人数	11(3)	1(1)	12(4)
	構成割合	2.6%	2.4%	2.6%

※1 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は263人

※3 第8次報告から調査。累計母数は469人

表 32 養育者（実父）の心理的・精神的問題等（心中による虐待死） ※1

区分		第5次から第19次まで [373人]	第20次[16人]	総数(第5次から第20 次まで)[389人]
育児不安	人数	17(0)	1(0)	18(0)
	構成割合	4.6%	6.3%	4.6%
知的障害	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	9(0)	0(0)	9(0)
	構成割合	2.4%	0.0%	2.3%
身体障害	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
その他の障害	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
アルコール依存	人数	1(0)	0(0)	1(0)
	構成割合	0.3%	0.0%	0.3%
薬物依存	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
ギャンブル依存 ※2	人数	1(0)	0(0)	1(0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.8%
衝動性	人数	16(0)	2(0)	18(0)
	構成割合	4.3%	12.5%	4.6%
攻撃性	人数	12(0)	2(0)	14(0)
	構成割合	3.2%	12.5%	3.6%
怒りのコントロール不全	人数	16(0)	2(0)	18(0)
	構成割合	4.3%	12.5%	4.6%
うつ状態	人数	15(0)	0(0)	15(0)
	構成割合	4.0%	0.0%	3.9%
躁状態	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
感情の起伏が激しい	人数	12(0)	2(0)	14(0)
	構成割合	3.2%	12.5%	3.6%
高い依存性	人数	1(0)	0(0)	1(0)
	構成割合	0.3%	0.0%	0.3%
幻視、幻聴	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
妄想	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.0%
DVを受けている	人数	3(0)	2(0)	5(0)
	構成割合	0.8%	12.5%	1.3%
DVを行っている	人数	14(0)	4(0)	18(0)
	構成割合	3.8%	25.0%	4.6%
自殺未遂の既往	人数	2(0)	0(0)	2(0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
養育能力の低さ	人数	4(0)	0(0)	4(0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.0%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母 国語としていない) ※3	人数	2(0)	1(0)	3(0)
	構成割合	0.7%	6.3%	1.0%

※1 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は128人

※3 第8次報告から調査。累計母数は291人

(6) 関係機関の関与・対応状況

① 虐待通告の状況

ア 虐待通告の有無と通告先

死亡事例の発生以前になされた虐待通告について、心中以外の虐待死事例では、通告「なし」が35人(62.5%)、「あり」が18人(32.1%)であった。虐待通告先は、「児童相談所」が11人(19.6%)、「市区町村」が5人(8.9%)であった。

心中による虐待死事例では、通告「なし」が10人(62.5%)、「あり」が6人(37.5%)であり、虐待通告先は、「児童相談所」と「市区町村」がともに3人(18.8%)であった。

表 33 虐待通告の有無と通告先（直近1回）（心中以外の虐待死）

区分		第5次から第 19 次 まで	第 20 次	総数(第5次から 第 20 次まで)	
なし	人数	602(97)	35(16)	637(113)	
	構成割合	75.5%	62.5%	74.7%	
あり	人数	172(44)	18(9)	190(53)	
	構成割合	21.6%	32.1%	22.3%	
内訳	児童相談所	人数	119(33)	11(5)	130(38)
		構成割合	14.9%	19.6%	15.2%
	市区町村	人数	46(11)	5(2)	51(13)
		構成割合	5.8%	8.9%	6.0%
	都道府県が設置する 福祉事務所	人数	2(0)	0(0)	2(0)
		構成割合	0.3%	0.0%	0.2%
	その他	人数	5(0)	0(0)	5(0)
		構成割合	0.6%	0.0%	0.6%
不明	人数	0(0)	2(2)	2(2)	
	構成割合	0.0%	3.6%	0.2%	
不明		人数	23(1)	3(2)	26(3)
		構成割合	2.9%	5.4%	3.0%
計		人数	797(142)	56(27)	853(169)
		構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

【参考事例】

＜死亡事例の発生以前に虐待通告があった事例＞

○13歳児（実母による身体的虐待で死亡）

本児が暴れるため実母が叩いたことで、虐待担当部署が身体的虐待として受理、要保護児童対策地域協議会に登録。その後、本児からの暴力について実母が警察に通告、児童相談所が実母から養護相談を受け、医療機関での一時保護を調整中に、実母が本児を刺殺。

○3歳児（身体虐待による頭部損傷で死亡）

面前DVで警察から児童相談所へ通告や、実母からの相談があり本家庭に係属。その後、本児が両足骨折等の重傷を負うが放置、その後意識不明となり死亡。

表 34 虐待通告の有無と通告先（直近 1 回）（心中による虐待死）

区分		第 5 次から第 19 次 まで	第 20 次	総数（第 5 次から 第 20 次まで）
なし	人数	381(9)	10(0)	391(9)
	構成割合	73.8%	62.5%	73.5%
あり	人数	61(2)	6(0)	67(2)
	構成割合	11.8%	37.5%	12.6%
内訳	児童相談所	人数	32(0)	3(0)
		構成割合	6.2%	18.8%
	市区町村	人数	25(2)	3(0)
		構成割合	4.8%	18.8%
	都道府県が設置する 福祉事務所	人数	1(0)	0(0)
		構成割合	0.2%	0.0%
	その他	人数	3(0)	0(0)
		構成割合	0.6%	0.0%
不明	人数	74(1)	0(0)	74(1)
	構成割合	14.3%	0.0%	13.9%
計		人数	516(12)	16(0)
		構成割合	100.0%	100.0%

② 児童相談所の関与

ア 児童相談所の関与の状況

児童相談所の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が22人（39.3%）、「なし」が31人（55.4%）であった。

心中による虐待死事例では、関与「あり」が4人（25.0%）、「なし」が12人（75.0%）であった。

表 35 児童相談所の関与状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から 第 19 次まで	第 20 次	総数(第5次から 第 20 次まで)
あり	人数	183(41)	22(10)	205(51)
	構成割合	23.0%	39.3%	24.0%
なし	人数	596(100)	31(15)	627(115)
	構成割合	74.8%	55.4%	73.5%
不明	人数	18(1)	3(2)	21(3)
	構成割合	2.3%	5.4%	2.5%
計	人数	797(142)	56(27)	853(169)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 36 児童相談所の関与状況（心中による虐待死）

区分		第5次から 第 19 次まで	第 20 次	総数(第5次から 第 20 次まで)
あり	人数	79(1)	4(0)	83(1)
	構成割合	15.3%	25.0%	15.6%
なし	人数	365(10)	12(0)	377(10)
	構成割合	70.7%	75.0%	70.9%
不明	人数	72(1)	0(0)	72(1)
	構成割合	14.0%	0.0%	13.5%
計	人数	516(12)	16(0)	532(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

イ 児童相談所等の関与の状況

児童相談所等の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「児童相談所の関与あり」の22人のうち「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」は12人（54.5%）、「その他の機関の関与あり」は全てであった。「その他の機関の関与」について、具体的には「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「医療機関」「養育機関・教育機関」「警察」「福祉事務所」などがあつた。

また、心中による虐待死事例では、「児童相談所の関与あり」4人のうち、「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」は3人（75.0%）、「その他の機関の関与あり」は全てであった。

表 37 児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与状況

区分	心中以外の虐待死 [22 人]		心中による虐待死 [4人]	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所の関与あり	22(10)		4(0)	
市区町村(虐待対応担当部署)の関与あり	12(4)	54.5%	3(0)	75.0%
その他の機関の関与あり	22(10)	100.0%	4(0)	100.0%

ウ 児童相談所における相談種別

児童相談所で関与した事例における相談種別について、心中以外の虐待死事例では、「虐待相談」が17人（77.3%）と最も多く、次いで「虐待以外の養護相談」5人（22.7%）であった。

表 38 児童相談所における相談種別（複数回答）

区分	第5次から第19次まで				第20次				総数(第5次から第20次まで)			
	心中以外の虐待死 [183 人]		心中による虐待死 [79 人]		心中以外の虐待死 [22 人]		心中による虐待死 [4 人]		心中以外の虐待死 [205 人]		心中による虐待死 [83 人]	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
虐待相談	124(29)	67.8%	36(0)	45.6%	17(7)	77.3%	3(0)	75.0%	141(36)	68.8%	39(0)	47.0%
虐待以外の養護相談	65(17)	35.5%	29(1)	36.7%	5(3)	22.7%	3(0)	75.0%	70(20)	34.1%	32(1)	38.6%
障害相談	10(1)	5.5%	21(0)	26.6%	2(2)	9.1%	0(0)	0.0%	12(3)	5.9%	21(0)	25.3%
非行相談	1(0)	0.5%	2(0)	2.5%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	0.5%	2(0)	2.4%
育成相談	3(0)	1.6%	5(0)	6.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	3(0)	1.5%	5(0)	6.0%
保健相談	1(1)	0.5%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	0.5%	0(0)	0.0%
その他	8(1)	4.4%	2(0)	2.5%	1(0)	4.5%	0(0)	0.0%	9(1)	4.4%	2(0)	2.4%

エ 児童相談所における虐待についての認識

児童相談所が関与した事例における児童相談所の虐待についての認識において、心中以外の虐待死事例では、「虐待の認識があり、対応していた」が17人(77.3%)と最も多く、次いで「虐待の認識はなかった」が4人(18.2%)であった。第5次報告から第20次報告までの総数をみると、「虐待の認識があり、対応していた」事例が多い。

表 39 児童相談所における虐待についての認識（心中以外の虐待死）

区分		第5次から第19次まで	第20次	総数(第5次から第20次まで)
虐待の認識があり、対応していた	人数	74(20)	17(7)	91(27)
	構成割合	40.4%	77.3%	44.4%
虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった	人数	62(12)	1(1)	63(13)
	構成割合	33.9%	4.5%	30.7%
虐待の認識はなかった	人数	47(9)	4(2)	51(11)
	構成割合	25.7%	18.2%	24.9%
計	人数	183(41)	22(10)	205(51)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 40 児童相談所における虐待についての認識（心中による虐待死）

区分		第5次から第19次まで	第20次	総数(第5次から第20次まで)
虐待の認識があり、対応していた	人数	27(0)	3(0)	30(0)
	構成割合	34.2%	75.0%	36.1%
虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった	人数	9(0)	0(0)	9(0)
	構成割合	11.4%	0.0%	10.8%
虐待の認識はなかった	人数	43(1)	1(0)	44(1)
	構成割合	54.4%	25.0%	53.0%
計	人数	79(1)	4(0)	83(1)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

オ 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況

児童相談所が関与した事例におけるリスク判定の見直し状況について、心中以外の虐待死事例では、定期的な見直しを「行った」が8人（36.4%）、「行わなかった」が14人（63.6%）であった。

第5次報告から第20次報告までの心中以外の虐待死事例の総数は、定期的な見直しを「行った」が59人（28.8%）、「行わなかった」が145人（70.7%）であった。

また、心中による虐待死事例の総数は、定期的な見直しを「行った」が13人（15.7%）、「行わなかった」が70人（84.3%）であった。

表 41 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から 第19次まで	第20次	総数(第5次から 第20次まで)
行った	人数	51(15)	8(6)	59(21)
	構成割合	27.9%	36.4%	28.8%
行わなかった	人数	131(26)	14(4)	145(30)
	構成割合	71.6%	63.6%	70.7%
不明	人数	1(0)	0(0)	1(0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
計	人数	183(41)	22(10)	205(51)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 42 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況（心中による虐待死）

区分		第5次から 第19次まで	第20次	総数(第5次から 第20次まで)
行った	人数	13(0)	0(0)	13(0)
	構成割合	16.5%	0.0%	15.7%
行わなかった	人数	66(1)	4(0)	70(1)
	構成割合	83.5%	100.0%	84.3%
不明	人数	0(0)	0(0)	0(0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
計	人数	79(1)	4(0)	83(1)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

カ 児童相談所による最終安全確認の時期

児童相談所が関与した事例における児童相談所による最終安全確認を行っていた時期について、心中以外の虐待死事例では、安全確認を行った時期が「死亡前の1週間～1か月未満」「死亡前の半年以上」がいずれも8人（36.4%）、「死亡前の1週間未満」が4人（18.2%）であった。

心中による虐待死事例では、「死亡前の1か月～3か月未満」が2人（50.0%）であった。

表 43 児童相談所による最終安全確認の時期

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
死亡前の1週間未満	4(0)	18.2%	0(0)	0.0%
死亡前の1週間～1か月未満	8(4)	36.4%	0(0)	0.0%
死亡前の1か月～3か月未満	2(1)	9.1%	2(0)	50.0%
死亡前の3か月～半年未満	0(0)	0.0%	1(0)	25.0%
死亡前の半年以上	8(5)	36.4%	1(0)	25.0%
計	22(10)	100.0%	4(0)	100.0%

キ 児童相談所による安全確認方法

児童相談所が関与した事例における児童相談所による安全確認方法について、心中以外の虐待死事例では、「不定期に電話にて安全確認」が5人（22.7%）、「定期的に訪問し安全確認」が3人（13.6%）、「その他」が11人（50.0%）等であった。「その他」には、「来所時に確認」「関係機関による確認」等があった。

表 44 児童相談所による安全確認方法

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
不定期に電話にて安全確認	5(0)	22.7%	1(0)	25.0%
不定期に訪問し安全確認	2(1)	9.1%	0(0)	0.0%
定期的に電話にて安全確認	1(1)	4.5%	0(0)	0.0%
定期的に訪問し安全確認	3(2)	13.6%	0(0)	0.0%
その他	11(6)	50.0%	3(0)	75.0%
計	22(10)	100.0%	4(0)	100.0%

③ 市区町村(虐待対応担当部署)の関与

ア 市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況

市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況について、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が17人(30.4%)、「なし」が36人(64.3%)であった。

また、心中による虐待死事例では、関与「あり」が5人(31.3%)、「なし」が11人(68.8%)であった。

表 45 市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況(心中以外の虐待死)

区分		第5次から第19次まで	第20次	総数(第5次から第20次まで)
あり	人数	199(53)	17(5)	216(58)
	構成割合	25.0%	30.4%	25.3%
なし	人数	573(87)	36(20)	609(107)
	構成割合	71.9%	64.3%	71.4%
不明	人数	25(2)	3(2)	28(4)
	構成割合	3.1%	5.4%	3.3%
計	人数	797(142)	56(27)	853(169)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 46 市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況(心中による虐待死)

区分		第5次から第19次まで	第20次	総数(第5次から第20次まで)
あり	人数	76(2)	5(0)	81(2)
	構成割合	14.7%	31.3%	15.2%
なし	人数	365(9)	11(0)	376(9)
	構成割合	70.7%	68.8%	70.7%
不明	人数	75(1)	0(0)	75(1)
	構成割合	14.5%	0.0%	14.1%
計	人数	516(12)	16(0)	532(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

イ 市区町村（虐待対応担当部署）における相談種別

市区町村（虐待対応担当部署）が関与した事例における相談種別について、心中以外の虐待死事例では、「虐待相談」が12人（70.6%）と最も多く、次いで「虐待以外の養護相談」が8人（47.1%）であった。

表 47 市区町村（虐待対応担当部署）における相談種別（複数回答）

区分	第5次から第19次まで				第20次				総数（第5次から第20次まで）			
	心中以外の虐待死 [199人]		心中による虐待死 [76人]		心中以外の虐待死 [17人]		心中による虐待死 [5人]		心中以外の虐待死 [216人]		心中による虐待死 [81人]	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
虐待相談	116(31)	58.3%	31(0)	40.8%	12(3)	70.6%	4(0)	80.0%	128(34)	59.3%	35(0)	43.2%
虐待以外の養護相談	16(9)	8.0%	16(0)	21.1%	8(3)	47.1%	1(0)	20.0%	24(12)	11.1%	17(0)	21.0%
障害相談	53(11)	26.6%	31(0)	40.8%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	53(11)	24.5%	31(0)	38.3%
非行相談	0(0)	0.0%	2(0)	2.6%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	2(0)	2.5%
育成相談	10(2)	5.0%	5(0)	6.6%	1(0)	5.9%	0(0)	0.0%	11(2)	5.1%	5(0)	6.2%
保健相談	19(3)	9.5%	4(0)	5.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	19(3)	8.8%	4(0)	4.9%
その他	28(8)	14.1%	8(2)	10.5%	2(0)	11.8%	0(0)	0.0%	30(8)	13.9%	8(2)	9.9%

ウ 市区町村（虐待対応担当部署）の相談受付経路

市区町村（虐待対応担当部署）で関与した事例における相談受付経路について、心中以外の虐待死事例では、「保育所・学校等」「児童相談所」「保健所・保健センター」「市区町村子ども家庭総合支援拠点」が3人（17.6%）であった。

心中による虐待死事例では、「保育所・学校等」「児童相談所」が3人（60.0%）であった。

表 48 市区町村の相談受付経路（複数回答）

区分		心中以外の虐待死[17人]		心中による虐待死[5人]	
		人数	構成割合	人数	構成割合
児童家庭支援センター		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母子生活支援施設		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
保育所・学校等		3(0)	17.6%	3(0)	60.0%
上記以外の児童福祉施設		2(1)	11.8%	0(0)	0.0%
児童相談所		3(1)	17.6%	3(0)	60.0%
配偶者暴力相談支援センター		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
福祉事務所		2(0)	11.8%	0(0)	0.0%
保健所・保健センター		3(2)	17.6%	1(0)	20.0%
子育て世代包括支援センター		1(0)	5.9%	0(0)	0.0%
市区町村子ども家庭総合支援拠点		3(2)	17.6%	1(0)	20.0%
上記以外の都道府県の部署・機関		1(0)	5.9%	0(0)	0.0%
上記以外の市区町村の部署・機関		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
警察		0(0)	0.0%	2(0)	40.0%
家庭裁判所		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
医療機関		2(0)	11.8%	0(0)	0.0%
内訳	産婦人科	1(0)	5.9%	0(0)	0.0%
	小児科	1(0)	5.9%	0(0)	0.0%
	内科	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	精神科	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	整形外科	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	脳神経外科	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	救急外来	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	歯科	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	不明	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
民生委員・児童委員		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
里親		0(0)	0.0%	1(0)	20.0%
民間団体		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
近隣住民・知人		0(0)	0.0%	2(0)	40.0%
家族・親戚		2(0)	11.8%	2(0)	40.0%
子ども本人		1(0)	5.9%	0(0)	0.0%
その他		1(0)	5.9%	1(0)	20.0%

④ 児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)の関与の状況

児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の両方が関与」があった事例が12人（21.4%）、「児童相談所のみ関与」があった事例が10人（17.9%）であった。

また、心中による虐待死事例では、「児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の両方が関与」があった事例が3人（18.8%）、「市区町村（虐待対応担当部署）のみ関与」があった事例が2人（12.5%）であった。

表 49 児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与の状況

区分	第5次から第 19 次まで				第 20 次			
	心中以外の虐待死		心中による虐待死		心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所のみ関与	54(11)	6.8%	33(1)	6.4%	10(6)	17.9%	1(0)	6.3%
市区町村(虐待対応担当部署)のみ関与	70(23)	8.8%	31(2)	6.0%	5(1)	8.9%	2(0)	12.5%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)の両方が関与	129(30)	16.2%	45(0)	8.7%	12(4)	21.4%	3(0)	18.8%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)ともに関与なし	519(76)	65.1%	331(8)	64.1%	26(14)	46.4%	10(0)	62.5%
不明 ※	25(2)	3.1%	76(1)	14.7%	3(2)	5.4%	0(0)	0.0%
計	797(142)	100.0%	516(12)	100.0%	56(27)	100.0%	16(0)	100.0%

区分	総数(第5次から第 20 次まで)			
	心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所のみ関与	64(17)	7.5%	34(1)	6.4%
市区町村(虐待対応担当部署)のみ関与	75(24)	8.8%	33(2)	6.2%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)の両方が関与	141(34)	16.5%	48(0)	9.0%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)ともに関与なし	545(90)	63.9%	341(8)	64.1%
不明 ※	28(4)	3.3%	76(1)	14.3%
計	853(169)	100.0%	532(12)	100.0%

※ 児童相談所もしくは市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況が「不明」と回答した事例もしくは未記入であったもの

⑤ その他の関係機関の関与の状況

児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）を除いた、その他の関係機関の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」は、関与があったものの虐待の認識を持たずに対応していた「関与はあったが虐待の認識なし」の事例が 24 人（42.9%）で他の機関と比較して多かった。また、虐待の認識がありながら関与していた「関与あり虐待の認識もあり」の事例についても 11 人（19.6%）で他の機関と比較して多かった。「医療機関」についても、「関与はあったが虐待の認識なし」が 16 人（28.6%）、「関与あり虐待の認識もあり」は 10 人（17.9%）で、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」に次いで多かった。

心中による虐待死事例では、「関与はあったが虐待の認識なし」の事例が、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が 11 人（68.8%）、次いで「養育機関・教育機関」が 7 人（43.8%）であった。「関与あり虐待の認識もあり」の事例は、「養育機関・教育機関」が 4 人（25.0%）であった。

表 50 その他の関係機関の関与状況（心中以外の虐待死）※1

区分		第5次から第 19 次まで [797 人]			第 20 次[56 人]			総数(第5次から第 20 次 まで)[853 人]		
		関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり	関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり	関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり
福祉事務所	人数	598(95)	103(23)	46(15)	42(22)	5(2)	5(1)	640(117)	108(25)	51(16)
	割合	75.0%	12.9%	5.8%	75.0%	8.9%	8.9%	75.0%	12.7%	6.0%
家庭児童相談室	人数	645(114)	49(11)	54(12)	44(23)	4(0)	4(2)	689(137)	53(11)	58(14)
	割合	80.9%	6.1%	6.8%	78.6%	7.1%	7.1%	80.8%	6.2%	6.8%
民生委員・児童委員	人数	633(111)	26(7)	19(0)	42(18)	2(0)	0(0)	675(129)	28(7)	19(0)
	割合	79.4%	3.3%	2.4%	75.0%	3.6%	0.0%	79.1%	3.3%	2.2%
保健所	人数	657(123)	55(6)	16(2)	43(19)	4(2)	2(1)	700(142)	59(8)	18(3)
	割合	82.4%	6.9%	2.0%	76.8%	7.1%	3.6%	82.1%	6.9%	2.1%
市区町村の母子保健担当 部署(保健センター等)	人数	326(51)	316(58)	103(30)	18(8)	24(13)	11(4)	344(59)	340(71)	114(34)
	割合	40.9%	39.6%	12.9%	32.1%	42.9%	19.6%	40.3%	39.9%	13.4%
養育機関・教育機関	人数	548(102)	126(19)	66(12)	31(16)	12(5)	9(3)	579(118)	138(24)	75(15)
	割合	68.8%	15.8%	8.3%	55.4%	21.4%	16.1%	67.9%	16.2%	8.8%
医療機関	人数	345(53)	226(44)	84(23)	20(7)	16(7)	10(6)	365(60)	242(51)	94(29)
	割合	43.3%	28.4%	10.5%	35.7%	28.6%	17.9%	42.8%	28.4%	11.0%
助産師(医療機関に勤務 する者を除く)	人数	617(118)	35(5)	5(0)	37(13)	6(4)	2(1)	654(131)	41(9)	7(1)
	割合	77.4%	4.4%	0.6%	66.1%	10.7%	3.6%	76.7%	4.8%	0.8%
警察	人数	644(120)	42(6)	43(9)	45(25)	1(0)	10(2)	689(145)	43(6)	53(11)
	割合	80.8%	5.3%	5.4%	80.4%	1.8%	17.9%	80.8%	5.0%	6.2%
婦人相談所※2	人数	519(123)	4(0)	9(2)	47(20)	1(1)	1(0)	566(143)	5(1)	10(2)
	割合	86.1%	0.7%	1.5%	83.9%	1.8%	1.8%	85.9%	0.8%	1.5%
配偶者暴力相談支援セン ター※3	人数	178(79)	1(0)	2(1)	46(19)	1(1)	1(0)	224(98)	2(1)	3(1)
	割合	84.8%	0.5%	1.0%	82.1%	1.8%	1.8%	84.2%	0.8%	1.1%

※1 児童相談所もしくは市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況が「不明」と回答した事例もしくは未記入であったものは記載を省略している

※2 第8次報告から調査。累計母数は 659 人

※3 第 16 次報告から調査。累計母数は 266 人

表 51 その他の関係機関の関与状況（心中による虐待死）※1

区分		第5次から第19次まで [516人]			第20次[16人]			総数(第5次から第20次 まで)[532人]		
		関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり	関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり	関与 なし	関与は あったが 虐待の 認識なし	関与あり 虐待の 認識も あり
福祉事務所	人数	321(10)	86(1)	15(0)	10(0)	3(0)	2(0)	331(10)	89(1)	17(0)
	割合	62.2%	16.7%	2.9%	62.5%	18.8%	12.5%	62.2%	16.7%	3.2%
家庭児童相談室	人数	367(9)	36(0)	23(2)	10(0)	2(0)	3(0)	377(9)	38(0)	26(2)
	割合	71.1%	7.0%	4.5%	62.5%	12.5%	18.8%	70.9%	7.1%	4.9%
民生委員・児童委員	人数	345(11)	18(0)	2(0)	12(0)	0(0)	1(0)	357(11)	18(0)	3(0)
	割合	66.9%	3.5%	0.4%	75.0%	0.0%	6.3%	67.1%	3.4%	0.6%
保健所	人数	378(8)	29(3)	6(0)	14(0)	1(0)	0(0)	392(8)	30(3)	6(0)
	割合	73.3%	5.6%	1.2%	87.5%	6.3%	0.0%	73.7%	5.6%	1.1%
市区町村の母子保健担当 部署(保健センター等)	人数	182(6)	219(3)	18(2)	3(0)	11(0)	2(0)	185(6)	230(3)	20(2)
	割合	35.3%	42.4%	3.5%	18.8%	68.8%	12.5%	34.8%	43.2%	3.8%
養育機関・教育機関	人数	189(5)	194(6)	25(0)	3(0)	7(0)	4(0)	192(5)	201(6)	29(0)
	割合	36.6%	37.6%	4.8%	18.8%	43.8%	25.0%	36.1%	37.8%	5.5%
医療機関	人数	170(5)	138(3)	11(2)	8(0)	3(0)	0(0)	178(5)	141(3)	11(2)
	割合	32.9%	26.7%	2.1%	50.0%	18.8%	0.0%	33.5%	26.5%	2.1%
助産師(医療機関に勤務 する者を除く)	人数	316(10)	22(0)	0(0)	11(0)	1(0)	0(0)	327(10)	23(0)	0(0)
	割合	61.2%	4.3%	0.0%	68.8%	6.3%	0.0%	61.5%	4.3%	0.0%
警察	人数	356(11)	16(0)	27(0)	11(0)	2(0)	3(0)	367(11)	18(0)	30(0)
	割合	69.0%	3.1%	5.2%	68.8%	12.5%	18.8%	69.0%	3.4%	5.6%
婦人相談所※2	人数	277(9)	1(0)	1(0)	7(0)	1(0)	2(0)	284(9)	2(0)	3(0)
	割合	78.7%	0.3%	0.3%	43.8%	6.3%	12.5%	77.2%	0.5%	0.8%
配偶者暴力相談支援セン ター※3	人数	69(7)	1(0)	1(0)	12(0)	0(0)	0(0)	81(7)	1(0)	1(0)
	割合	75.0%	1.1%	1.1%	75.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.9%	0.9%

※1 児童相談所もしくは市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況が「不明」と回答した事例もしくは未記入であったものは記載を省略している

※2 第8次報告から調査。累計368人

※3 第16次報告から調査。累計母数は108人

⑥ 児童相談所及び関係機関の関与状況

児童相談所及び関係機関の関与状況について、心中以外の虐待死事例では「児童相談所が関わっていた」が22人（39.3%）と最も多く、次いで「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった」が15人（26.8%）であった。

また、心中による虐待死事例についても、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった」が9人（56.3%）と最も多く、次いで「児童相談所が関わっていた」が4人（25.0%）であった。

第5次報告から第20次報告までの総数でみると、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった」が多い。

表 52 児童相談所及び関係機関の関与状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から 第19次まで	第20次	総数 (第5次から 第20次まで)
児童相談所が関わっていた(虐待以外の養護 相談などで関わっていた事例を含む)	人数	183(41)	22(10)	205(51)
	構成割合	23.0%	39.3%	24.0%
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識してい たが児童相談所が関わっていなかった	人数	49(13)	4(1)	53(14)
	構成割合	6.1%	7.1%	6.2%
関係機関との接点があったが、虐待や虐待の 可能性を認識していなかった	人数	309(53)	15(9)	324(62)
	構成割合	38.8%	26.8%	38.0%
関係機関と全く接点を持ちえなかった	人数	233(35)	8(2)	241(37)
	構成割合	29.2%	14.3%	28.3%
関係機関の関与不明	人数	23(0)	7(5)	30(5)
	構成割合	2.9%	12.5%	3.5%
計	人数	797(142)	56(27)	853(169)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 53 児童相談所及び関係機関の関与状況（心中による虐待死）

区分		第5次から 第19次まで	第20次	総数 (第5次から 第20次まで)
児童相談所が関わっていた(虐待以外の養護 相談などで関わっていた事例を含む)	人数	79(1)	4(0)	83(1)
	構成割合	15.3%	25.0%	15.6%
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識してい たが児童相談所が関わっていなかった	人数	12(2)	3(0)	15(2)
	構成割合	2.3%	18.8%	2.8%
関係機関との接点があったが、虐待や虐待の 可能性を認識していなかった	人数	276(7)	9(0)	285(7)
	構成割合	53.5%	56.3%	53.6%
関係機関と全く接点を持ちえなかった	人数	75(1)	0(0)	75(1)
	構成割合	14.5%	0.0%	14.1%
関係機関の関与不明	人数	74(1)	0(0)	74(1)
	構成割合	14.3%	0.0%	13.9%
計	人数	516(12)	16(0)	532(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 関係機関間の連携状況

関係機関間の連携状況について、心中以外の虐待死事例で、関係機関間の連携が「なし」が29人（有効割合 54.7%）、「あり」が24人（同 45.3%）であった。連携があった事例における連携の状況については、「まあまあ取れていた」が12人（同 22.6%）と最も多く、次いで「よく取れていた」が11人（同 20.8%）であった。

また、心中による虐待死事例では、関係機関間の連携が「なし」が11人（同 68.8%）、「あり」が5人（同 31.3%）であった。連携があった事例における連携の状況については、「よく取れていた」が4人（同 25.0%）「まあまあ取れていた」が1人（同 6.3%）であった。

表 54 関係機関間の連携状況

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		29(15)	51.8%	54.7%	11(0)	68.8%	68.8%
あり		24(11)	42.9%	45.3%	5(0)	31.3%	31.3%
内訳	よく取れていた	11(6)	19.6%	20.8%	4(0)	25.0%	25.0%
	まあまあ取れていた	12(5)	21.4%	22.6%	1(0)	6.3%	6.3%
	あまり取れていなかった	1(0)	1.8%	1.9%	0(0)	0.0%	0.0%
	ほとんど取れていなかった	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
小計		53(26)	94.6%	100.0%	16(0)	100.0%	100.0%
不明		3(1)	5.4%		0(0)	0.0%	
計		56(27)	100.0%	—	16(0)	100.0%	—

⑧ 関係機関間の情報提供(通告を除く)

関係機関間の通告を除く情報提供について、心中以外の虐待死事例で、関係機関から児童相談所へ情報提供のあったのは14人（25.0%）で、このうち「市区町村（虐待対応担当部署）」「保健所・保健センター」「市区町村子ども家庭総合支援拠点」がそれぞれ4人（7.1%）であった。また、関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）へ情報提供があったのは17人（30.4%）で、「保育所・学校等」が8人（14.3%）、「保健所・保健センター」が6人（10.7%）であった。さらに、関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）へ情報提供があったのは、17人（30.4%）で、このうち「医療機関」が8人（14.3%）、「児童相談所」が4人（7.1%）であった。

心中による虐待死事例で、「市区町村（虐待対応担当部署）」「警察」が3人（18.8%）であった。関係機関から児童相談所へ情報提供があったのは4人（25.0%）であった。また、関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）へ情報提供があったのは5人（31.3%）で、このうち「警察」が4人（25.0%）であった。関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）へ情報提供があったのは5人（31.3%）で、「市区町村（虐待対応担当部署）」が3人（18.8%）であった。

表 55 関係機関から児童相談所への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		41(23)	73.2%	10(0)	62.5%
あり		14(4)	25.0%	4(0)	25.0%
内訳 (複数回答)	児童家庭支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	2(0)	3.6%	2(0)	12.5%
	上記以外の児童福祉施設	1(0)	1.8%	0(0)	0.0%
	他の児童相談所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	1(0)	1.8%	0(0)	0.0%
	市区町村(虐待対応担当部署)	4(0)	7.1%	3(0)	18.8%
	保健所・保健センター	4(3)	7.1%	0(0)	0.0%
	子育て世代包括支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	4(0)	7.1%	0(0)	0.0%
	警察	3(1)	5.4%	3(0)	18.8%
	検察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	医療機関	2(2)	3.6%	0(0)	0.0%
	民生委員・児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
不明		1(0)	1.8%	2(0)	12.5%
計		56(27)	100.0%	16(0)	100.0%

表 56 関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		38(22)	67.9%	11(0)	68.8%
あり		17(5)	30.4%	5(0)	31.3%
内訳 (複数回答)	児童家庭支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	8(1)	14.3%	3(0)	18.8%
	上記以外の児童福祉施設	4(2)	7.1%	0(0)	0.0%
	児童相談所	3(1)	5.4%	3(0)	18.8%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	3(0)	5.4%	0(0)	0.0%
	保健所・保健センター	6(4)	10.7%	1(0)	6.3%
	子育て世代包括支援センター	1(0)	1.8%	1(0)	6.3%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	2(1)	3.6%	0(0)	0.0%
	警察	3(1)	5.4%	4(0)	25.0%
	検察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	医療機関	5(1)	8.9%	1(0)	6.3%
	民生委員・児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	4(0)	7.1%	2(0)	12.5%
不明		1(0)	1.8%	0(0)	0.0%
計		56(27)	100.0%	16(0)	100.0%

表 57 関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		37(18)	66.1%	11(0)	68.8%
あり		17(9)	30.4%	5(0)	31.3%
内訳 (複数回答)	児童家庭支援センター	2(2)	3.6%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	0(0)	0.0%	2(0)	12.5%
	上記以外の児童福祉施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	児童相談所	4(3)	7.1%	2(0)	12.5%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	市区町村(虐待対応担当部署)	1(1)	1.8%	3(0)	18.8%
	保健所・保健センター	2(1)	3.6%	0(0)	0.0%
	子育て世代包括支援センター	2(1)	3.6%	0(0)	0.0%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	1(0)	1.8%	0(0)	0.0%
	警察	0(0)	0.0%	2(0)	12.5%
	検察	1(0)	1.8%	0(0)	0.0%
	医療機関	8(3)	14.3%	3(0)	18.8%
	民生委員・児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	1(1)	1.8%	2(0)	12.5%
不明		2(0)	3.6%	0(0)	0.0%
計		56(27)	100.0%	16(0)	100.0%

(7) 要保護児童対策地域協議会の活用状況

① 死亡事例が発生、又は表面化した地方公共団体における要保護児童対策地域協議会の活用状況及び関係機関の連携状況

死亡事例が発生、又は表面化した地方公共団体における要保護児童対策地域協議会の活用状況について、心中以外の虐待死事例では、「よく活用している」が 36 人（69.2%）、「ある程度活用している」が 14 人（26.9%）であった。心中による虐待死事例では、死亡事例が発生、又は表面化した全ての地方公共団体において要保護児童対策地域協議会が活用されていた。

また、要保護児童対策地域協議会の活用状況と関係機関の連携状況について、心中以外の虐待死事例では、本調査の検証対象となった事例（以下「当該事例」という。）における関係機関の連携状況が「連携なし」28 人のうち、要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が 21 人、「ある程度活用している」が 6 人であった。

心中による虐待死事例では、当該事例についての関係機関の連携状況が「連携なし」11 人のうち、要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が 8 人、「ある程度活用している」が 3 人であった。

表 58 死亡事例が発生、又は表面化した地方公共団体における要保護児童対策地域協議会の活用状況

区分	心中以外の虐待死※		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
よく活用している	36 (15)	69.2%	12 (0)	75.0%
ある程度活用している	14 (9)	26.9%	4 (0)	25.0%
あまり活用していない	1 (1)	1.9%	0 (0)	0.0%
ほとんど活用していない	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
不明	1 (1)	1.9%	0 (0)	0.0%
計	52 (26)	100.0%	16 (0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体、設置無回答の自治体が3自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は 52 人

表 59 要保護児童対策地域協議会の活用状況と当該事例における関係機関の連携状況（心中以外の虐待死）※
（単位：人）

区分	関係機関の連携なし	関係機関の連携あり						不明	計
		よく取れていた	まあまあ取れていた	あまり取れていなかった	ほとんど取れていなかった	不明	小計		
よく活用している	21(9)	7(3)	7(3)	1(0)	0(0)	0(0)	15(6)	0(0)	36(15)
ある程度活用している	6(4)	2(2)	5(2)	0(0)	0(0)	0(0)	7(4)	1(1)	14(9)
あまり活用していない	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
ほとんど活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
不明	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
計	28(14)	10(6)	12(5)	1(0)	0(0)	0(0)	23(11)	1(1)	52(26)

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体、設置無回答の自治体が3自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は52人

表 60 要保護児童対策地域協議会の活用状況と当該事例における関係機関の連携状況（心中による虐待死）
（単位：人）

区分	関係機関の連携なし	関係機関の連携あり						不明	計
		よく取れていた	まあまあ取れていた	あまり取れていなかった	ほとんど取れていなかった	不明	小計		
よく活用している	8(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)	0(0)	12(0)
ある程度活用している	3(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	4(0)
あまり活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
ほとんど活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
不明	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	11(0)	4(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	0(0)	16(0)

② 要保護児童対策地域協議会における当該事例の検討状況

要保護児童対策地域協議会における当該事例の検討状況については、心中以外の虐待死事例では、検討「あり」が15人（28.8%）、「なし」が36人（69.2%）で、約7割の事例で検討がなされていなかった。検討「あり」の事例のうち、「実務者会議」で検討されていた事例は14人（26.9%）、「個別ケース検討会議」で検討されていた事例は10人（19.2%）であった。また、「要保護児童」として扱われていた事例は10人（19.2%）であった。

心中による虐待死事例では、要保護児童対策地域協議会で検討「なし」の事例は13人（81.3%）で、約8割の事例で検討がなされてなかった。

表 61 要保護児童対策地域協議会における当該事例についての検討状況

区分		心中以外の虐待死※		心中による虐待死	
		人数	構成割合	人数	構成割合
あり		15(7)	28.8%	3(0)	18.8%
内訳 (複数回答)	代表者会議	1(0)	1.9%	0(0)	0.0%
	実務者会議	14(7)	26.9%	3(0)	18.8%
	個別ケース検討会議	10(6)	19.2%	3(0)	18.8%
	その他	1(0)	1.9%	0(0)	0.0%
なし		36(18)	69.2%	13(0)	81.3%
不明		1(1)	1.9%	0(0)	0.0%
計		52(26)	100.0%	16(0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体、無回答の自治体が3自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は52人

表 62 要保護児童対策地域協議会における当該事例についての取扱い状況

区分		心中以外の虐待死※		心中による虐待死	
		人数	構成割合	人数	構成割合
あり		15(7)	28.8%	3(0)	18.8%
内訳 (複数回答)	要保護児童	10(4)	19.2%	1(0)	6.3%
	要支援児童	2(1)	3.8%	2(0)	12.5%
	特定妊婦	2(2)	3.8%	0(0)	0.0%
	その他	1(0)	1.9%	0(0)	0.0%
なし		36(18)	69.2%	13(0)	81.3%
不明		1(1)	1.9%	0(0)	0.0%
計		52(26)	100.0%	16(0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体、無回答の自治体が3自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は52人

(8) こどもの死亡後の対応状況

① 当該事例に関する行政機関内部による検証の実施状況

当該事例に関する行政機関内部による検証の実施状況について、心中以外の虐待死事例では、検証を「実施していない」が 39 人 (69.6%)、「実施した」が 16 人 (28.6%)、「実施中」が 1 人 (1.8%) であり、検証を実施している事例は約 3 割であった。

心中による虐待死事例については、検証を「実施していない」が 11 人 (68.8%)、「実施した」が 4 人 (25.0%)、「実施中」が 1 人 (6.3%) であった。

表 63 当該事例に関する行政機関内部による検証の実施状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
実施していない	39 (24)	69.6%	11 (0)	68.8%
実施した	16 (3)	28.6%	4 (0)	25.0%
実施中	1 (0)	1.8%	1 (0)	6.3%
計	56 (27)	100.0%	16 (0)	100.0%

② 当該事例に関する第三者による検証の実施状況

当該事例に関する第三者による検証の実施状況について、心中以外の虐待死事例では、検証を「実施していない」が 45 人 (80.4%)、「実施した」が 9 人 (16.1%)、「実施中」が 2 人 (3.6%) であり、検証を実施している事例は全体の約 2 割であった。

心中による虐待死事例では、検証を「実施していない」が 12 人 (75.0%)、「実施した」が 1 人 (6.3%)、「実施中」が 3 人 (18.8%) であった。

表 64 当該事例に関する第三者による検証の実施状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死	
	人数	構成割合	人数	構成割合
実施していない	45 (26)	80.4%	12 (0)	75.0%
実施した	9 (1)	16.1%	1 (0)	6.3%
実施中	2 (0)	3.6%	3 (0)	18.8%
計	56 (27)	100.0%	16 (0)	100.0%

(9) 0日・0か月児の死亡事例（心中以外の虐待死）

生後 24 時間に満たないで死亡したと考えられる日齢 0 日児の死亡事例（以下「0 日児」という。）と、日齢 1 日以上月齢 1 か月未満児の死亡事例（以下「0 か月児」という。）を合わせた 0 日・0 か月児の心中以外の虐待死事例（以下「0 日・0 か月児事例」という。）が 0 歳児の死亡事例の中でも一定の割合を占めていることを踏まえ、以下にとりまとめた。

① 0歳児及び0日・0か月児事例の発生状況

0 歳児の心中以外の虐待死事例は 25 人で、本調査の検証対象になった事例の約 4.5 割を占めている。

また、0 歳児の死亡事例のうち、0 日児は 9 人、0 か月児は 6 人であった。

表 65 0 歳児の死亡人数の推移（心中以外の虐待死）

区分	第 1 次から第 19 次まで	第 20 次	総数(第 1 次から第 20 次まで)
人数(人)	479(73)	25(12)	504(85)
割合 ※	48.4%	44.6%	48.2%

※各年次報告における心中以外の虐待死事例に占める 0 歳児の割合

表 66 0 日・0 か月児事例における死亡人数の推移（心中以外の虐待死）と 0 歳児の心中以外の虐待死事例における割合

(単位：人)			
区分	第 1 次から第 19 次まで	第 20 次	総数(第 1 次から第 20 次まで)
0 日	176(17)	9(2)	185(19)
0 か月	37(5)	6(4)	43(9)
総数	213(22)	15(6)	228(28)
構成割合	44.5%	60.0%	45.2%

0 歳	479(73)	25(12)	504(85)
-----	---------	--------	---------

表 67 0 日・0 か月児事例における日齢別死亡人数（心中以外の虐待死）

区分	人数
0 日	9 (2)
1～9 日	1 (0)
10 日以上	2 (1)
不明	3 (3)
計	15 (6)

② 主たる加害者

0日・0か月児事例における虐待を行った主たる加害者は、0日児、0か月児ともに「実母」が最も多かった。また、第1次報告から第20次報告までの総数でみても、「実母」が主たる加害者であった事例は194人（85.1%）で最も多い。

表 68 0日・0か月児事例における主たる加害者（心中以外の虐待死）

（単位：人）

区分	第1次から第19次まで				第20次				総数（第1次から第20次まで）					
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児		計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母	156 (12)	88.6%	30 (4)	81.1%	5 (0)	55.6%	3 (1)	50.0%	161 (12)	87.0%	33 (5)	76.7%	194 (17)	85.1%
実父	1 (0)	0.6%	2 (0)	5.4%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.5%	2 (0)	4.7%	3 (0)	1.3%
実母・実父	9 (2)	5.1%	4 (0)	10.8%	1 (0)	11.1%	1 (1)	16.7%	10 (2)	5.4%	5 (1)	11.6%	15 (3)	6.6%
その他	4 (2)	2.3%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	4 (2)	2.2%	0 (0)	0.0%	4 (2)	1.8%
不明	6 (1)	3.4%	1 (1)	2.7%	3 (2)	33.3%	2 (2)	33.3%	9 (3)	4.9%	3 (3)	7.0%	12 (6)	5.3%
計	176 (17)	100.0%	37 (5)	100.0%	9 (2)	100.0%	6 (4)	100.0%	185 (19)	100.0%	43 (9)	100.0%	228 (28)	100.0%

③ 死因となった虐待の類型

0日・0か月児事例における死因となった虐待の類型は、0日児は、「身体的虐待」5人（55.6%）、「ネグレクト」と「不明」がそれぞれ2人（22.2%）、0か月児は、「身体的虐待」と「ネグレクト」がそれぞれ1人（16.7%）であった。

表 69 0日・0か月児事例における死因となった虐待の類型（心中以外の虐待死）

区分	第7次から第19次まで				第20次				総数（第7次から第20次まで）			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	41 (3)	35.7%	15 (0)	53.6%	5 (0)	55.6%	1 (0)	16.7%	46 (3)	37.1%	16 (0)	47.1%
ネグレクト	54 (8)	47.0%	9 (2)	32.1%	2 (0)	22.2%	1 (0)	16.7%	56 (8)	45.2%	10 (2)	29.4%
不明	20 (6)	17.4%	4 (3)	14.3%	2 (2)	22.2%	4 (4)	66.7%	22 (8)	17.7%	8 (7)	23.5%
計	115 (17)	100.0%	28 (5)	100.0%	9 (2)	100.0%	6 (4)	100.0%	124 (19)	100.0%	34 (9)	100.0%

④ 虐待の類型(遺棄)

0日・0か月事例において、妊娠期・周産期の問題にて「遺棄あり」の0日児は9人、0か月児は4人であった。

0日児において、身体的虐待としての「遺棄」により死亡した0日児は5人であった。

表 70 0日・0か月児事例における虐待の類型（遺棄）（心中以外の虐待死）

区分	0日児		0か月児		計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
妊娠期・周産期の問題にて遺棄あり	9(2)	100.0%	4(3)	66.7%	13(5)	86.7%
ネグレクト(遺棄)	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
身体的虐待	5(0)	55.6%	1(0)	25.0%	6(0)	46.1%

⑤ 遺棄された場所

0日・0か月児事例において、0日児の遺棄された場所は「自宅」3人、「自宅外」が6人であった。0か月児の遺棄された場所は「自宅」が0人、「自宅外」が4人であった。

表 71 0日・0か月児事例における遺棄された場所（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで				第20次			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	12(0)	6.8%	20(2)	54.1%	0(0)	0.0%	2(1)	33.3%
遺棄あり	161(17)	91.5%	16(2)	43.2%	9(2)	100.0%	4(3)	66.7%
自宅	79(8)	44.9%	7(0)	18.9%	3(1)	33.3%	0(0)	0.0%
自宅外	82(9)	46.6%	9(2)	24.3%	6(1)	66.7%	4(3)	66.7%
不明	3(0)	1.7%	1(1)	2.7%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
計	176(17)	100.0%	37(5)	100.0%	9(2)	100.0%	6(4)	100.0%

区分	総数(第1次から20次まで)					
	0日児		0か月児		計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	12(0)	6.5%	22(3)	51.2%	34(3)	14.9%
遺棄あり	170(19)	91.9%	20(5)	46.5%	190(24)	83.3%
自宅	82(9)	44.3%	7(0)	16.3%	89(9)	39.0%
自宅外	88(10)	47.6%	13(5)	30.2%	101(15)	44.3%
不明	3(0)	1.6%	1(1)	2.3%	4(1)	1.8%
計	185(19)	100.0%	43(9)	100.0%	228(28)	100.0%

⑥ 直接の死因

0日・0か月児事例における直接の死因について、第1次報告から第20次報告までの総数をみると、「窒息（絞殺以外）」が68人（有効割合43.9%）と最も多かった。

表72 0日・0か月児事例における直接の死因（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで						第20次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、放置	29 (2)	16.5%	23.8%	5 (1)	13.5%	18.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	16.7%	33.3%
窒息（絞殺以外）	55 (2)	31.3%	45.1%	12 (0)	32.4%	44.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	16.7%	33.3%
絞殺	9 (0)	5.1%	7.4%	5 (0)	13.5%	18.5%	1 (0)	11.1%	33.3%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	29 (4)	16.5%	23.8%	5 (0)	13.5%	18.5%	2 (0)	22.2%	66.7%	1 (1)	16.7%	33.3%
不明	54 (9)	30.7%		10 (4)	27.0%		6 (2)	66.7%		3 (2)	50.0%	
計	176 (17)	100.0%	－	37 (5)	100.0%	－	9 (2)	100.0%	－	6 (4)	100.0%	－

区分	総数（第1次から第20次まで）								
	0日児			0か月児			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、放置	29 (2)	15.7%	23.2%	6 (1)	14.0%	20.0%	35 (3)	15.4%	22.6%
窒息（絞殺以外）	55 (2)	29.7%	44.0%	13 (1)	30.2%	43.3%	68 (3)	29.8%	43.9%
絞殺	10 (0)	5.4%	8.0%	5 (0)	11.6%	16.7%	15 (0)	6.6%	9.7%
その他	31 (4)	16.8%	24.8%	6 (1)	14.0%	20.0%	37 (5)	16.2%	23.9%
不明	60 (11)	32.4%		13 (6)	30.2%		73 (17)	32.0%	
計	185 (19)	100.0%	－	43 (9)	100.0%	－	228 (28)	100.0%	－

⑦ 事例が発覚した経緯

0日・0か月児事例におけるが発覚した経緯は、0日児で「その他」が6人（66.7%）、「家族その他の同居者が遺体を発見」2人（22.2%）、「近隣住民・知人が遺体を発見」が1人（11.1%）であった。0か月児で「その他」が5人（83.3%）、「家族その他の同居者が遺体を発見」が1人（16.7%）であった。「その他」としては、「警察が関係者からの情報提供を受け、居所を捜査し遺体を発見」「母親が病院に救急搬送されたのち医師が出産を確認、警察が自宅で遺体を発見」「ホテルやマンション、コインロッカーの従業員や清掃員が発見」「通りがかりの男性が発見」「駐車場利用者が発見」などがあつた。

表 73 0日・0か月児事例におけるが発覚した経緯（心中以外の虐待死）

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
近隣住民・知人が遺体を発見	1(0)	11.1%	0(0)	0.0%
家族その他の同居者が遺体を発見	2(1)	22.2%	1(0)	16.7%
その他	6(1)	66.7%	5(4)	83.3%
計	9(2)	100.0%	6(4)	100.0%

⑧ 出産した場所

0日・0か月児事例における実母が本児を出産した場所について、第1次報告から第20次報告までの総数でみると、0日・0か月児事例全体における「自宅」での出産が130人（有効割合63.7%）、特に、0日児における「自宅」での出産が117人（同71.8%）と高い割合を占めていた。また、0日児において、第1次報告から第20次報告までの総数でみると、医療機関での出産は0人であった。

表 74 0日・0か月児事例における出産した場所（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで						第20次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅 ※	115(11)	65.3%	72.8%	11(1)	29.7%	29.7%	2(0)	22.2%	40.0%	2(1)	33.3%	50.0%
自宅外	43(4)	24.4%	27.2%	7(1)	18.9%	18.9%	3(0)	33.3%	60.0%	1(0)	16.7%	25.0%
医療機関	0(0)	0.0%	0.0%	19(3)	51.4%	51.4%	0(0)	0.0%	0.0%	1(1)	16.7%	25.0%
不明	18(2)	10.2%		0(0)	0.0%		4(2)	44.4%		2(2)	33.3%	
計	176(17)	100.0%	—	37(5)	100.0%	—	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

区分	総数（第1次から第20次まで）								
	0日児			0か月児			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅 ※	117(11)	63.2%	71.8%	13(2)	30.2%	31.7%	130(13)	57.0%	63.7%
自宅外	46(4)	24.9%	28.2%	8(1)	18.6%	19.5%	54(5)	23.7%	26.5%
医療機関	0(0)	0.0%	0.0%	20(4)	46.5%	48.8%	20(4)	8.8%	9.8%
不明	22(4)	11.9%		2(2)	4.7%		24(6)	10.5%	
計	185(19)	100.0%	—	43(9)	100.0%	—	228(28)	100.0%	—

※ 「自宅」とは、専門家による介助がない自宅分娩のこと

表 75 0 日・0 か月児事例における自宅内での出産場所（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで				第20次			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	44 (4)	38.3%	1 (0)	9.1%	1 (0)	50.0%	0 (0)	0.0%
風呂場	11 (0)	9.6%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
その他	20 (5)	17.4%	3 (0)	27.3%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
不明	40 (3)	34.8%	7 (1)	63.6%	1 (0)	50.0%	2 (1)	100.0%
計	115 (12)	100.0%	11 (1)	100.0%	2 (0)	100.0%	2 (1)	100.0%

区分	総数（第1次から第20次まで）					
	0日児		0か月児		計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	45 (4)	38.5%	1 (0)	7.7%	46 (4)	35.4%
風呂場	11 (0)	9.4%	0 (0)	0.0%	11 (0)	8.5%
その他	20 (5)	17.1%	3 (0)	23.1%	23 (5)	17.7%
不明	41 (3)	35.0%	9 (2)	69.2%	50 (5)	38.5%
計	117 (12)	100.0%	13 (2)	100.0%	130 (14)	100.0%

⑨ 養育者の状況

ア 実母の年齢

0日・0か月児事例における実母の年齢は、0日児は「19歳以下」が3人（有効割合33.3%）、「20～24歳」が4人（同44.4%）、「30～34歳」が2人（同22.2%）であった。0か月児は「19歳以下」が1人（同20.0%）、「20～24歳」が2人（同40.0%）、「25～29歳」「30～34歳」がそれぞれ1人（同20.0%）であった。

また、第1次報告から第20次報告までの総数でみると、0日・0か月児事例の実母の年齢は、0日児では、「19歳以下」が51人（同28.2%）と最も多く、0か月児では、「35～39歳」が12人（同28.6%）と最も多かった。

表76 0日・0か月児事例における実母の年齢（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第19次まで						第20次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	48(6)	27.3%	27.9%	4(0)	10.8%	10.8%	3(0)	33.3%	33.3%	1(0)	16.7%	20.0%
20～24歳	35(1)	19.9%	20.3%	7(2)	18.9%	18.9%	4(1)	44.4%	44.4%	2(2)	33.3%	40.0%
25～29歳	28(4)	15.9%	16.3%	6(2)	16.2%	16.2%	0(0)	0.0%	0.0%	1(1)	16.7%	20.0%
30～34歳	26(3)	14.8%	15.1%	8(1)	21.6%	21.6%	2(1)	22.2%	22.2%	1(0)	16.7%	20.0%
35～39歳	22(2)	12.5%	12.8%	12(0)	32.4%	32.4%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
40歳以上	13(0)	7.4%	7.6%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	4(1)	2.3%		0(0)	0.0%		0(0)	0.0%		1(1)	16.7%	
計	176(17)	100.0%	—	37(5)	100.0%	—	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

区分	総数(第1次から第20次まで)								
	0日児			0か月児			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	51(6)	27.6%	28.2%	5(0)	11.6%	11.9%	56(6)	24.6%	25.1%
20～24歳	39(2)	21.1%	21.5%	9(4)	20.9%	21.4%	48(6)	21.1%	21.5%
25～29歳	28(4)	15.1%	15.5%	7(3)	16.3%	16.7%	35(7)	15.4%	15.7%
30～34歳	28(4)	15.1%	15.5%	9(1)	20.9%	21.4%	37(5)	16.2%	16.6%
35～39歳	22(2)	11.9%	12.2%	12(0)	27.9%	28.6%	34(2)	14.9%	15.2%
40歳以上	13(0)	7.0%	7.2%	0(0)	0.0%	0.0%	13(0)	5.7%	5.8%
不明	4(1)	2.2%		1(1)	2.3%		5(2)	2.2%	
計	185(19)	100.0%	—	43(9)	100.0%	—	228(28)	100.0%	—

イ 家庭の状況

0日・0か月児事例における家庭の状況（同居の養育者の状況）について、0日児では、「ひとり親（未婚）」が2人（有効割合 40.0%）、「実父母」「ひとり親（離婚）」「内縁関係（交際相手を含む）」がそれぞれ1人（同 20.0%）、「不明」が4人、0か月児では、「ひとり親（未婚）」が2人（同 66.7%）、「実父母」が1人（33.3%）、「不明」が3人であった。

また、0日・0か月児事例における祖父母の同居状況については、0日児では「同居なし」が3人（有効割合 50.0%）、「同居あり」が3人（同 50.0%）で、「母方祖父母」が2人（同 33.3%）、「母方祖母」が1人（同 16.7%）であった。0か月児では、「同居なし」が2人（同 66.7%）、「同居あり」が1人（同 33.3%）で「母方祖父」であった。

表 77 0日・0か月児事例における同居の養育者の状況（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	1(0)	11.1%	20.0%	1(1)	16.7%	33.3%
ひとり親(離婚)	1(0)	11.1%	20.0%	0(0)	0.0%	0.0%
ひとり親(未婚)	2(0)	22.2%	40.0%	2(0)	33.3%	66.7%
ひとり親(死別)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
ひとり親(別居)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
内縁関係(交際相手を含む)	1(0)	11.1%	20.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実父母のいずれかとその再婚者	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養父母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	4(2)	44.4%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

表 78 0日・0か月児事例における祖父母との同居状況（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
同居なし	3(0)	33.3%	50.0%	2(1)	33.3%	66.7%
同居あり	3(1)	33.3%	50.0%	1(0)	16.7%	33.3%
	母方祖母	1(0)	11.1%	0(0)	0.0%	0.0%
	母方祖父	0(0)	0.0%	1(0)	16.7%	33.3%
	母方祖父母	2(1)	22.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	父方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	父方祖父母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	3(1)	33.3%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

ウ 家庭の経済状態

0日・0か月児事例における家庭の経済状況について、当該世帯の家計を支えている主たる者は、0日児では「実母」「母方祖母」それぞれ1人（有効割合50.0%）、「不明」は7人であった。0か月児では「母方祖父」が1人（同33.3%）、「その他」が2人（同66.7%）、「不明」は3人であった。

0日児・0か月児事例における世帯収入の状況は、0日児では「市区町村民税課税世帯（年収500万円未満）」「年収500万円以上」がそれぞれ1人、「不明」が7人であった。0か月児では「生活保護世帯」「市区町村民税課税世帯（年収500万円未満）」「年収500万円以上」がそれぞれ1人、「不明」が3人であった。

0日児・0か月児事例における実母の就業状況は、0日児では「無職」「パート」がそれぞれ2人、「不明」が5人、0か月児では「パート」が2人、「無職」が1人、「不明」が3人であった。

表 79 0日・0か月児事例における家計を支えている主たる者（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母	1(0)	11.1%	50.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
継母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
継父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実母の交際相手	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実父の交際相手	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
母方祖母	1(0)	11.1%	50.0%	0(0)	0.0%	0.0%
父方祖母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
母方祖父	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	16.7%	33.3%
父方祖父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	0(0)	0.0%	0.0%	2(1)	33.3%	66.7%
不明	7(2)	77.8%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

表 80 0日・0か月児事例における世帯収入の状況（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	0(0)	0.0%	0.0%	1(1)	16.7%	33.3%
市区町村民税非課税世帯 （所得割、均等割ともに非課税）	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
市区町村民税課税世帯（所得割のみ非課税）	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
市区町村民税課税世帯（年収500万円未満）	1(0)	11.1%	50.0%	1(0)	16.7%	33.3%
年収500万円以上	1(0)	11.1%	50.0%	1(0)	16.7%	33.3%
不明	7(2)	77.8%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	－	6(4)	100.0%	－

表 81 0日・0か月児事例における実母の就業状況（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
無職	2(0)	22.2%	50.0%	1(1)	16.7%	33.3%
フルタイム	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
パート	2(0)	22.2%	50.0%	2(0)	33.3%	66.7%
不明	5(2)	55.6%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	－	6(4)	100.0%	－

エ 妊娠期・周産期の問題

0日・0か月児事例における妊娠期・周産期の問題については、0日児では、「遺棄」が9人（100.0%）、「妊娠届の未提出（母子健康手帳の未交付）」が7人（77.8%）、「妊婦健康診査未受診」が6人（66.7%）、「墜落分娩」が4人（44.4%）、「若年（10代）妊娠」が3人（33.3%）であった。0か月児では、「妊婦健康診査未受診」「遺棄」がそれぞれ4人（66.7%）、「若年（10代）妊娠」「妊娠届の未提出（母子健康手帳の未交付）」がそれぞれ3人（50.0%）、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」「墜落分娩」がそれぞれ2人（33.3%）、「本児を妊娠時の特定妊婦としての支援」が1人（16.7%）であった。

表 82 0日・0か月児事例における妊娠期・周産期の問題（心中以外の虐待死）

区分	0日児[9人]		0か月児[6人]	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
妊娠高血圧症候群	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
喫煙の常習	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
アルコールの常習	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
マタニティブルーズ	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	0 (0)	0.0%	2 (0)	33.3%
若年(10代)妊娠	3 (0)	33.3%	3 (2)	50.0%
お腹をたたく等の墮胎行為	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
妊娠届の未提出（母子健康手帳の未交付）	7 (1)	77.8%	3 (1)	50.0%
妊婦健康診査未受診	6 (0)	66.7%	4 (2)	66.7%
その他(妊娠期の母体側の問題)	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
遺棄	9 (2)	100.0%	4 (3)	66.7%
墜落分娩	4 (0)	44.4%	2 (1)	33.3%
飛び込み出産	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
帝王切開	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
医療機関からの連絡	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
その他(周産期の母体側の問題)	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援	0 (0)	0.0%	1 (1)	16.7%

オ 実父の状況

0日・0か月児事例における実父の状況について、0日児では、実父は「いる（同居）」「いない」がそれぞれ1人、「不明」が7人であった。0か月児では、実父は「いる（同居）」「いる（別居）」「いない」がそれぞれ1人、「不明」が3人であった。

実父の年齢について、第1次報告から第20次報告までの総数でみると、0日・0か月児事例では実父の年齢が「不明」が102人と約6割を占めていた。

表 83 0日・0か月児事例における実父の状況（心中以外の虐待死）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
いる(同居)	1(0)	11.1%	50.0%	1(1)	16.7%	33.3%
いる(別居)	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	16.7%	33.3%
いる(同居か別居かは不明)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
いない	1(0)	11.1%	50.0%	1(0)	16.7%	33.3%
不明	7(2)	77.8%		3(3)	50.0%	
計	9(2)	100.0%	—	6(4)	100.0%	—

表 84 0日・0か月児事例における実父の年齢（心中以外の虐待死）※

区分	第1次から第19次まで						第20次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	13	9.3%	30.2%	1	3.6%	4.3%	0	0.0%	0.0%	1	50.0%	50.0%
20～24歳	7	5.0%	16.3%	3	10.7%	13.0%	1	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%
25～29歳	3	2.1%	7.0%	2	7.1%	8.7%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
30～34歳	4	2.9%	9.3%	4	14.3%	17.4%	0	0.0%	0.0%	1	50.0%	50.0%
35～39歳	3	2.1%	7.0%	6	21.4%	26.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
40歳以上	13	9.3%	30.2%	7	25.0%	30.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	97	69.3%		5	17.9%		0	0.0%		0	0.0%	
計	140	100.0%	—	28	100.0%	—	1	100.0%	—	2	100.0%	—

区分	総数(第1次から第20次まで)								
	0日児			0か月児			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	13	9.2%	29.5%	2	6.7%	8.0%	15	8.8%	21.7%
20～24歳	8	5.7%	18.2%	3	10.0%	12.0%	11	6.4%	15.9%
25～29歳	3	2.1%	6.8%	2	6.7%	8.0%	5	2.9%	7.2%
30～34歳	4	2.8%	9.1%	5	16.7%	20.0%	9	5.3%	13.0%
35～39歳	3	2.1%	6.8%	6	20.0%	24.0%	9	5.3%	13.0%
40歳以上	13	9.2%	29.5%	7	23.3%	28.0%	20	11.7%	29.0%
不明	97	68.8%		5	16.7%		102	59.6%	
計	141	100.0%	—	30	100.0%	—	171	100.0%	—

※ 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

⑩ 関係機関の関与状況

0日・0か月児事例における関係機関の関与状況について、0日児では「養育機関・教育機関」が1人（11.1%）、0か月児では、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「家庭児童相談室」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「医療機関」がそれぞれ1人（16.7%）の関与があった。

表 85 0日・0か月児事例における関係機関の関与あり（心中以外の虐待死）

区分	0日児[9人]		0か月児[6人]	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
市区町村(虐待対応担当部署)	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
福祉事務所	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
家庭児童相談室	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
民生児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
保健所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
養育機関・教育機関	1(0)	11.1%	0(0)	0.0%
医療機関	0(0)	0.0%	1(1)	16.7%
助産師	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
警察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
婦人相談所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%

(10) 精神疾患のある養育者における事例について

① 精神疾患のある実母における事例の発生状況

本報告において、「精神疾患のある養育者」とは、医師による診断のある者とする（以下「精神疾患あり」という。）。一方、精神疾患に関する診断名がついていない養育者（その疑いや可能性のある場合を含む）については、「精神疾患のない養育者」（以下「精神疾患なし」という。）とし、それ以外の者は「不明」とする。

虐待の主たる加害者が実母であり、その実母が「精神疾患あり」であった（以下「精神疾患のある実母」という。）事例について、第5次報告から第20次報告までの総数では174人であった。そのうち、心中以外の虐待死事例は76人、心中による虐待死事例は98人であった。

一方、虐待の主たる加害者が実母であり、その実母が「精神疾患なし」であった事例については、第5次報告から第20次報告までの総数では374人であり、そのうち、心中以外の虐待死事例は266人、心中による虐待死事例は108人であった。

表 86 虐待の主たる加害者が実母であった事例における精神疾患の有無とこどもの死亡人数 （単位：人）

区分		第5次から第19次まで	第20次	総数(第5次から第20次まで)
心中以外の虐待死	精神疾患あり	68(6)	8(3)	76(9)
	精神疾患なし	250(46)	16(4)	266(50)
	不明	228(33)	8(2)	236(35)
心中による虐待死	精神疾患あり	98(1)	0(0)	98(1)
	精神疾患なし	103(3)	5(0)	108(3)
	不明	179(1)	3(0)	182(1)
計		926(90)	40(9)	966(99)

② 精神疾患のある実母の診断名(疾病、傷害及び死因分類)

精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）について、第5次報告から第20次報告までの総数をみると、心中以外の虐待死事例では、うつ病や双極性感情障害といった「気分〔感情〕障害」が38例と最も多く、心中による虐待死事例についても、「気分〔感情〕障害」が54例と最も多かった。

なお、「詳細不明の精神障害」は、精神科の受診歴はあるが、地方公共団体が正確な診断名を把握していないもの、検査中などの理由で確定診断がつけられる前に虐待死事例が発生したものであった。

表 87 精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）^{注11）}（複数回答）（単位：例）

区分	総数(第5次から第20次まで)	
	心中以外の虐待死 [75 例]	心中による虐待死 [84 例]
症状性を含む器質性精神障害	1 (0)	0 (0)
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1 (1)	0 (0)
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	24 (0)	16 (1)
気分〔感情〕障害	38 (5)	54 (1)
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	14 (2)	19 (0)
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4 (0)	6 (0)
成人の人格及び行動の障害	3 (0)	3 (0)
知的障害＜精神発達遅滞＞	3 (0)	0 (0)
心理的発達の障害	1 (0)	1 (0)
小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	2 (1)	0 (0)
詳細不明の精神障害	7 (0)	7 (0)

^{注11）} 回答のあった診断名について、世界保健機関（WHO）により定められた「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂」（ICD-10）に基づいて我が国で使用する「疾病、傷害及び死因分類」をもとに分類した

(11) 総括

対象事例について、こどもの死亡を防ぐために必要であったと考えられることや事例への援助における留意点等といった視点を踏まえて自由記載を求めた。

内容をみると、「児童福祉と母子保健の連携」「関係機関との連携」「アセスメントのあり方」「事例を踏まえた対応の検討」「体制の整備や強化」に関する記載が多かった。

記載内容の一部抜粋

児童福祉と母子保健の連携
○ 母子保健担当課による、将来的な児童福祉担当課との連携の可能性を見据えた妊娠期からの支援が重要である。
○ 母子保健と児童福祉担当間での情報共有を適時行い、リスクの高いケースは担当のみではなく上席を交えて、市区町村としての対応方針について協議し、連携を密にして対応していくことが重要である。
○ 大きな課題や問題がない場合において、健康診断や予防接種、赤ちゃん訪問等で地域の関係機関が関わった際に丁寧に話を聞き、相談先を案内する等、地道ではあるが一つ一つの関わりを継続していくことで情報をキャッチすることや、発見することにつながるのではないかな。
関係機関との連携
○ 本児の関わる医療機関に対して、家庭引き取り後に本児が怪我等で受診した場合の対応について明確に依頼しておく必要がある。
○ 母親は父親からのDVを受けていること、金銭的に困っていることを地域の複数機関に相談していたことから、関係部署間で情報共有を確実にし、連携して対応方針の検討を行うなどしていれば、母親の困り感を正確に把握し事例の発生を防止する上で効果的な支援を行えたのではないかと考える。
○ 地域とのつながりが希薄であり、誰にも相談することができず一人で抱え込んでしまったことが要因と考えられるため、今後の課題として相談窓口の周知啓発の強化、敷居の低い相談窓口となること、地域社会での見守りの視点等の意識改革を図る。
○ こどもの所属機関が夏季休暇になると対象児童の関係機関の見守りが難しい状況であるが、改めて保育所や小中学校に児童の見守りを依頼した。
○ こどもの安全を守ることを最優先としつつも、状況に応じて、保護者に徹底的に寄り添う役割を担う機関も必要となる。
○ 要保護児童対策地域協議会における関係機関との連携、重症度の変更について児童相談所から市区町村に事案送致するときや、保育所を退所したとき等、虐待のリスクが高まったときに、個別ケース検討会議を開催するべきであった。
アセスメントのあり方
○ 実父の心身の状況に関する詳細なアセスメントや実父への積極的な介入の必要性について検討する必要があった。
○ 母親への指導や母の意思の尊重についての「寄り添い支援」と職権保護等の「介入」の役割分担やそのタイミングの難しさを感じた。
○ 受理時の相談種別が虐待ではなくても、虐待状況に陥ることを念頭に置いたアセスメントや支援が必要であった。
○ 乳幼児期の愛着形成に重要な時期に分離されたケースの評価について、母子の愛着形成や関係性を客観的に評価できる技法を用い、慎重に評価することが必要である。また、親子支援チームや児童心理司など、多職種を積極的に関与させ、客観的かつ多面的に評価し、児童相談所として方針を決定する必要がある。

○ 保護者や家庭の評価において、交流時の親子の関係性だけでなく、基本的な養育環境が整えられ、こどもが安心かつ安全に生活を送ることが可能なのか、保護者が適切な養育が可能なのかという、基本的な評価を丁寧に行うことが必要である。
○ こどもや母親だけでなく、家族全体の情報を共有し、アセスメントを実施した上で、包括的な支援を行っていくことの重要性を感じた。
事例を踏まえた対応の検討
○ 一時保護中に父母の付添を不可としていたため、父母の育児手技を直接評価できなかった。自宅に戻る前に父母と本児との面会や父母に病院に泊まってもらうなどして、育児手技を確認、指導する場を作ることができるとよかった。
○ 家庭引き取り時には、育児記録の必要性や様式の提示を行い、育児記録を記載してもらうことで退院後の父母の育児が実際にどのように行われていたかを確認することが有効であった。
○ 産後1年は、EPDSを取りながら母親の状況を確認していく必要があった。
○ 家庭引き取り後の環境の変化が虐待の再発に繋がりがやすいことを認識するとともに、児童相談所の再介入の基準についても設定すべきだった。
○ 要保護児童から要支援児童への変更に当たり、新たな通所先での状況や身長・体重等の推移等の客観的情報を経時的にアセスメントし、その是非を検討すべきだった。
○ 児童相談所は事案送致後も、要保護児童対策地域協議会においてより積極的にリスクアセスメントや助言等を行うべきだった。
○ 事例のリスクをアセスメントする上で、転入前の自治体からの情報が非常に重要であった。きょうだい児については、児童相談所も継続して関わっていたため、転入前の自治体と児童相談所と現自治体が一堂に会するケース会議を実施し、リスクが高まる要因の検討と具体的な役割分担を行うことが必要だったと考える。
○ こどもそれぞれの養育状況を把握し、必要な支援を導入できるように、こどもそれぞれに視点を当てた支援の構築が必要である。
体制の整備や強化
○ 事案発生を受け、全ての乳児家庭全戸訪問の際に児の放置の解説を踏まえた虐待予防啓発リーフレットを手交し、虐待リスクの説明を強化している。
○ 妊娠ホットラインなどのより広い周知を行うことの重要性を再認識した。
○ 保育所において長期欠席児童の扱いが統一されていなかったため、欠席が7日を超える前にこども家庭支援センターに連絡をいれること周知した。
○ DVが背景にある妊娠、先天性の障害を持って生まれてきたこどもはリスクも高く、出生時からの切れ目のない支援を行っていく必要がある。市区町村が中心となり、繋がりを絶やさないように、確実な情報共有や引き継ぎ等を実施する。
○ 医療的ケア児童の対応においては緊急時に保護者が慌てずに対応できるよう、地域で連携し、連絡先等をまとめたフローチャートを作成していく。
○ 最初の虐待時に医療的ケア児童に対する支援の関係者会議を実施し、自治体において虐待対応部署が定期的にモニタリングしていく。
○ 特定妊婦の支援に当たっては、医療機関と文書や電話での情報共有のみでなく、特にリスクが高い事例については、できる限り児童相談所とともに医療機関とのケース会議を開催し、出産後の具体的な役割分担を行うように今まで以上に留意している。